

〔道路メンテナンス年報〕
宮城の道路メンテナンス概要



2021年11月
宮城県道路メンテナンス会議

まえがき

宮城県内の国道や高速道路、県道、市町村道の道路延長は約 26,400 km におよび、その中には約 12,700 橋の橋梁、約 140 箇所の特ネル、約 530 施設の道路附属物等があります。また、その道路構造物の多くが 1960 年代から 1990 年代頃にかけて建設され、道路構造物の老朽化が急速に進んでいると言えます。

例えば、老朽化の目安とされる建設後 50 年を経過した橋梁は、架設年次が不明なものを除くと、2021 年 3 月末時点で約 2,600 橋、全体の 30% ですが、20 年後には約 6,700 橋、77% まで急増するなど、道路構造物の老朽化への対応は緊急的・社会的な課題となっています。

2014 年度から定期点検の義務化など道路のメンテナンスサイクルの構築に向けて動き出しており、2018 年度までの 5 年間（1 巡目）で、各道路管理者により計画的に点検が実施されたところです。引き続き、2 巡目の点検を計画的に進めるとともに、点検結果を踏まえ個別施設ごとの長寿命化修繕計画を策定しながら補修・修繕等を進めていくこととしています。

「宮城県道路メンテナンス会議」は、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るため、2014 年度に県内のすべての道路管理者からなる組織を設立し、これまで道路施設の定期点検計画の策定、見学会・研修会及び修繕の実施に取り組んできたところです。

この「[道路メンテナンス年報]宮城の道路メンテナンス概要」は、宮城県道路メンテナンス会議の取り組みの一環として、県内の道路施設の老朽化の実態やメンテナンスの取り組み状況を取りまとめ、県民や道路利用者に情報発信するとともに、今後の対応方針の立案に活用していくものです。

宮城県道路メンテナンス会議 会長
(仙台河川国道事務所長) 中尾 吉宏

目 次

1 道路構造物の現状	1
(1) 道路構造物の管理者	1
(2) 道路構造物の急速な老朽化	1
2 宮城の道路メンテナンス概要について	2
(1) 概要	2
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について	2
3 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果	3
(1) 2 巡目（2019～2020 年度）の点検結果（全道路管理者）	3
(2) 2 巡目（2019～2020 年度）の点検結果（管理者別）	5
(3) 2019～2020 年度点検実施施設における判定区分の遷移状況	11
(4) 直近 5 年間（2016～2020 年度）の点検結果（全道路管理者）	14
(5) 直近 5 年間（2016～2020 年度）の点検結果（管理者別）	18
4 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況	21
(1) 1 巡目点検施設における修繕等措置の実施状況	21
(2) 直近 5 年間の点検施設における修繕等措置の実施状況	25
(3) 判定区分Ⅳの施設の措置状況	28
(4) 修繕等措置の取り組み事例	29
(5) 橋梁の損傷傾向	32
(6) 個別施設計画の策定状況	34
5 予防保全への移行状況	36
6 道路メンテナンス会議の取り組み	37
7 参考資料（東北と県全体の比較）	39
8 巻末資料	50

1 道路構造物の現状

(1) 道路構造物の管理者

県内の道路には、橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物があります。このうち、特に数が多い橋梁では、約7割(約8,600橋)を市町村で管理しています。

表1-1 道路管理者別の道路構造物等内訳

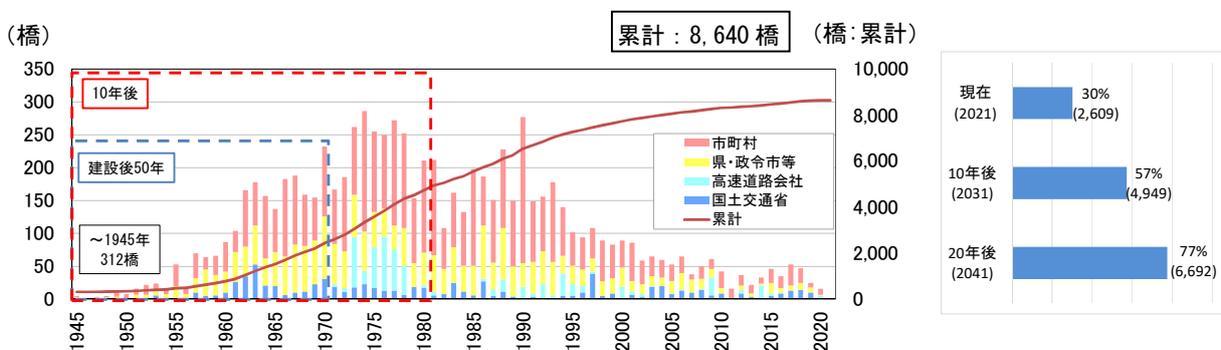
管理者	道路延長 (km)	橋梁 (橋)	トンネル (箇所)	道路附属物等 (施設)	道路附属物等			
					シェッド	大型カルバート	横断歩道橋	門型標識等
国土交通省	681	835	31	195	6	70	52	67
高速道路会社	179	608	4	168	0	106	0	62
県・政令市等	3,312	2,719	78	144	22	32	63	27
市町村	22,187	8,552	30	22	3	7	11	1
合計	26,359	12,714	143	529	31	215	126	157

※2021年3月末時点
 ※道路延長は「道路統計年報2020」より集計

(2) 道路構造物の急速な老朽化

橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物は、その多くが高度経済成長期に建設され、今後、これらの道路構造物の老朽化が急速に進む見込みです。

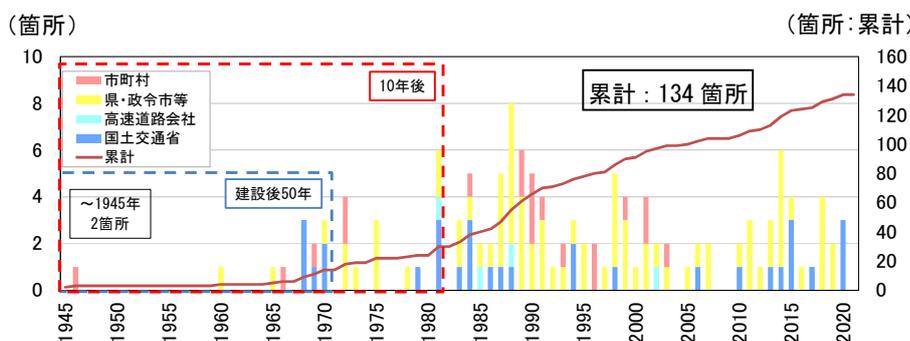
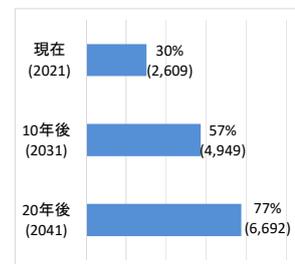
特に構造物数の多い橋梁でみると、建設後50年を経過した橋梁は、現在30%に対し、10年後には57%に増加するため、計画的・効率的なメンテナンスサイクルの構築が必要な状況です。



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約4,000橋ある。
 (出典) 道路局調べ(2021.3末時点)

図1-1 建設年代別施設数(橋梁)

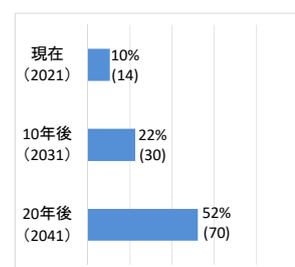
図1-2 建設後50年を経過した施設の割合(橋梁)



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが9箇所ある。
 (出典) 道路局調べ(2021.3末時点)

図1-3 建設年代別施設数(トンネル)

図1-4 建設後50年を経過した施設の割合(トンネル)



2 宮城の道路メンテナンス概要について

(1) 概要

- 宮城県道路メンテナンス会議では、県民・道路利用者に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「宮城の道路メンテナンス概要」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等※については、2014～2018年度における1巡目点検（以降、1巡目点検）が完了し、2019年度より2巡目の点検に着手しています。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
 - 2019～2020年度における点検結果及び判定区分の遷移状況
 - 直近5年間（2016～2020年度）の点検結果
 - 1巡目点検施設及び直近5年間の修繕等措置の実施状況（2020年度末時点）
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。

→地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から県内の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。

→各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくこととなります。

※道路附属物等：シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013年の道路法改正等を受け、2014年7月より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。



写真2-1 橋梁点検状況



写真2-2 トンネル点検状況

3 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 2巡目(2019~2020年度)の点検結果(全道路管理者)

2巡目(2019~2020年度)の累積点検実施率は、橋梁 43%、トンネル 43%、道路附属物等 40%です。

判定区分の割合は、橋梁：I 12%、II 77%、III 11%、IV 0.1%、トンネル：I 4%、II 29%、III 67%、IV 0%、道路附属物等：I 25%、II 48%、III 26%、IV 0%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。(次頁以降も同様)
 ※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

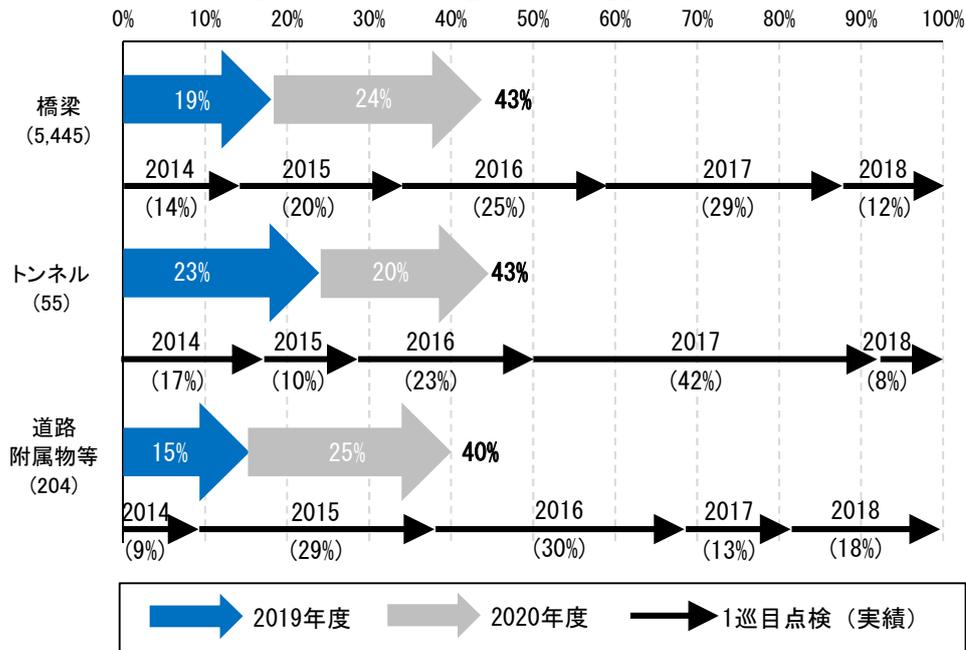


図3-1 2巡目(2019~2020年度)の点検実施率(全道路管理者合計)

※()内は、2019~2020年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-1 (2019~2020年度)の点検実施率(全道路管理者)

	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	12,714	12,538	5,445	43% (34%)
トンネル	143	127	55	43% (27%)
道路附属物等	529	506	204	40% (38%)

2021.3 末時点
 ※1：2021年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。
 ※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1巡目(2014~2015年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

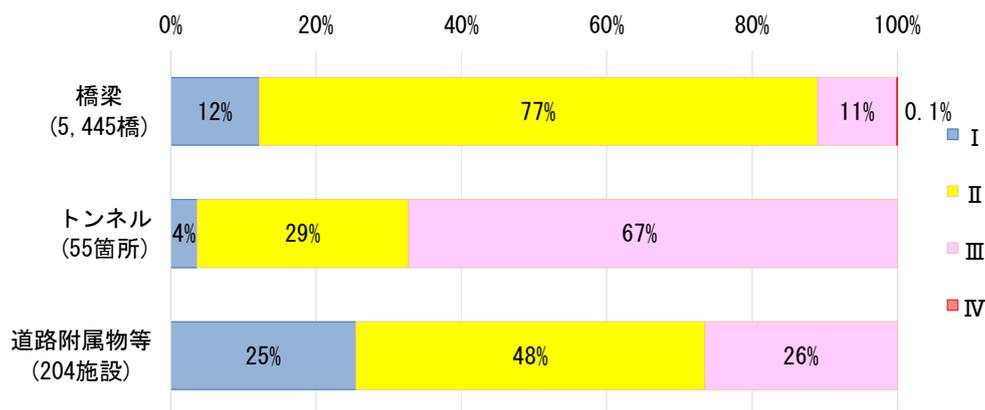


図3-2 2巡目（2019～2020年度）の判定区分の割合（全道路管理者合計）

※（）内は、2巡目（2019～2020年度）に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-2 2巡目（2019～2020年度）の判定区分の割合（全道路管理者）

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	5,445	663	4,182	596	4
		12%	77%	11%	0.1%
トンネル	55	2	16	37	0
		4%	29%	67%	0%
道路附属物等	204	52	98	54	0
		25%	48%	26%	0%

2021.3 末時点

【参考】1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（全道路管理者合計）



図3-3 1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（全道路管理者合計）

※2019年3月時点での集計値
 ※（）内は、1巡目（2014～2018年度）に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

(2) 2 巡目 (2019~2020 年度) の点検結果 (管理者別)

① 橋梁

橋梁の 2 巡目 (2019~2020 年度) の累積点検実施率は、国土交通省 39%、高速道路会社 38%、県・政令市等 38%、市町村 46%です。

全管理者の判定区割合は、I 12%、II 77%、III 11%、IV 0.1%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

○2 巡目 (2019~2020 年度) の点検実施率 (橋梁)

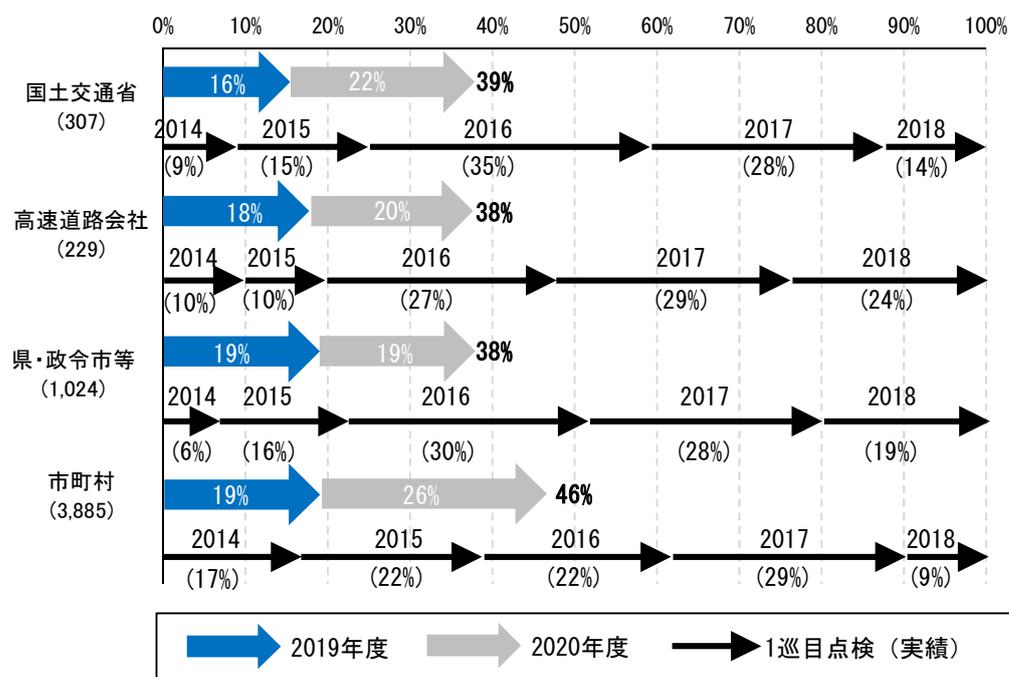


図 3-4 2 巡目 (2019~2020 年度) の点検実施率 (橋梁)

※ () 内は、2019~2020 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表 3-3 (2019~2020 年度) の点検実施率 (橋梁)

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	835	789	307	39% (24%)
高速道路会社	608	601	229	38% (20%)
県・政令市等	2,719	2,684	1,024	38% (22%)
市町村	8,552	8,464	3,885	46% (39%)
合計	12,714	12,538	5,445	43% (34%)

※1: 2021 年 3 月時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

2021.3 末時点

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。() 内は、1 巡目 (2014~2015 年度) における点検実施率。



図3-5 2巡目（2019～2020年度）の判定区分の割合（橋梁）

※（）内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100にならない場合がある。

表3-4 2巡目（2019～2020年度）の判定区分の割合（橋梁）

管理者	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	307	96	189	22	0
		31%	62%	7%	0%
高速道路会社	229	40	165	24	0
		17%	72%	10%	0%
県・政令市等	1,024	113	587	323	1
		11%	57%	32%	0.1%
市町村	3,885	414	3,241	227	3
		11%	83%	6%	0.1%
合計	5,445	663	4,182	596	4
		12%	77%	11%	0.1%

2021.3 末時点

【参考】1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（橋梁）

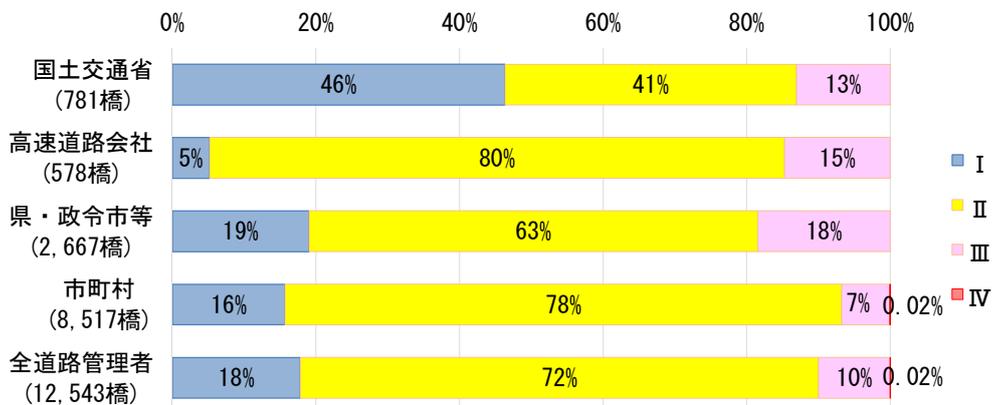


図3-6 1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（橋梁）

※2019年3月時点での集計値
 ※（）内は、1巡目（2014～2018年度）に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100にならない場合がある。

②トンネル

トンネルの2巡目（2019～2020年度）の累積点検実施率は、国土交通省 27%、高速道路会社 50%、県・政令市等 54%、市町村 30%です。

全管理者の判定区分割合は、Ⅰ 4%、Ⅱ 29%、Ⅲ 67%、Ⅳ 0%です。

〇2巡目（2019～2020年度）の点検実施率（トンネル）

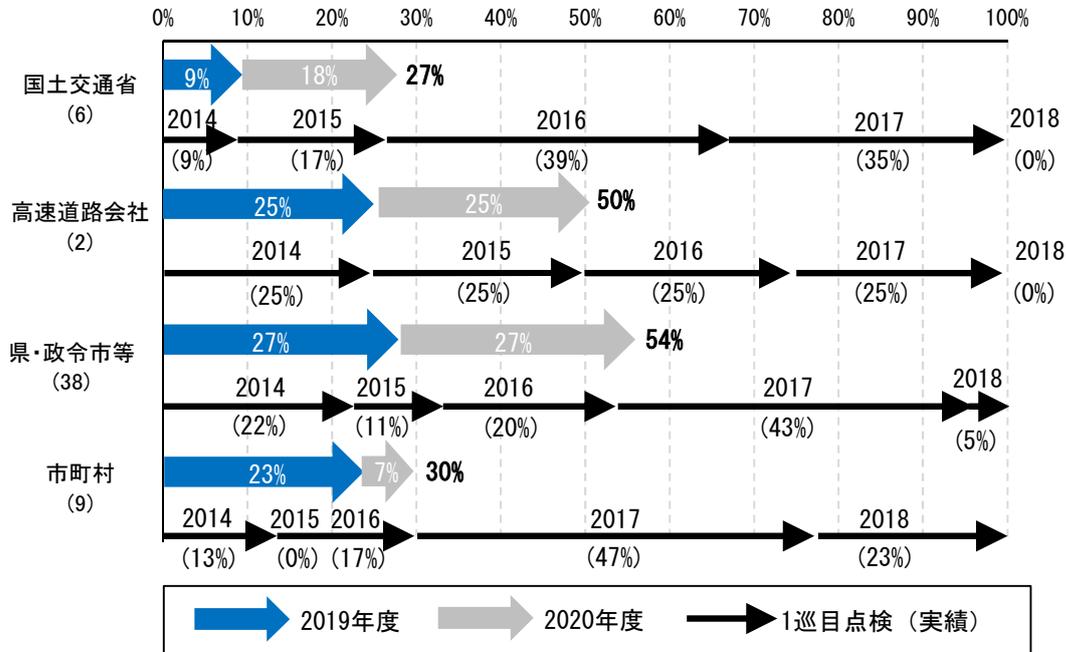


図3-7 2巡目（2019～2020年度）の点検実施率（トンネル）

※（）内は、2019～2020年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100にならない場合がある。

表3-5 (2019～2020年度)の点検実施率（トンネル）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	31	22	6	27% (26%)
高速道路会社	4	4	2	50% (50%)
県・政令市等	78	71	38	54% (33%)
市町村	30	30	9	30% (13%)
合計	143	127	55	43% (27%)

※1：2021年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。2021.3末時点
※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。（）内は、1巡目（2014～2015年度）における点検実施率。

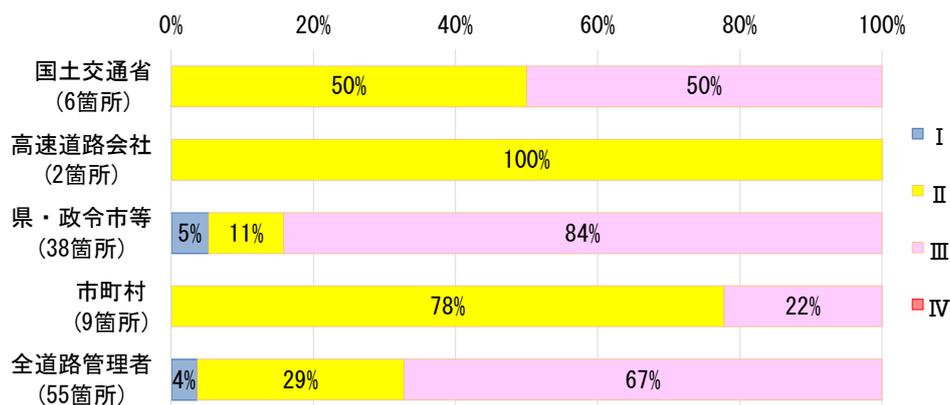


図 3-8 2 巡目 (2019~2020 年度) の判定区分の割合 (トンネル)

※ () 内は、2019~2020 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表 3-6 2 巡目 (2019~2020 年度) の判定区分の割合 (トンネル)

管理者	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	6	0	3	3	0
		0%	50%	50%	0%
高速道路会社	2	0	2	0	0
		0%	100%	0%	0%
県・政令市等	38	2	4	32	0
		5%	11%	84%	0%
市町村	9	0	7	2	0
		0%	78%	22%	0%
合計	55	2	16	37	0
		4%	29%	67%	0%

2021.3 末時点

【参考】1 巡目 (2014~2018 年度) の判定区分の割合 (トンネル)



図 3-9 1 巡目 (2014~2018 年度) の判定区分の割合 (トンネル)

※2019 年 3 月時点での集計値
 ※ () 内は、1 巡目 (2014~2018 年度) に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

③道路附属物等

道路附属物等の2巡目(2019~2020年度)の累積点検実施率は、国土交通省 42%、高速道路会社 31%、県・政令市等 47%、市町村 61%です。

全管理者の判定区分割合は、Ⅰ 25%、Ⅱ 48%、Ⅲ 26%、Ⅳ 0%です。

〇2巡目(2019~2020年度)の点検実施率(道路附属物等)

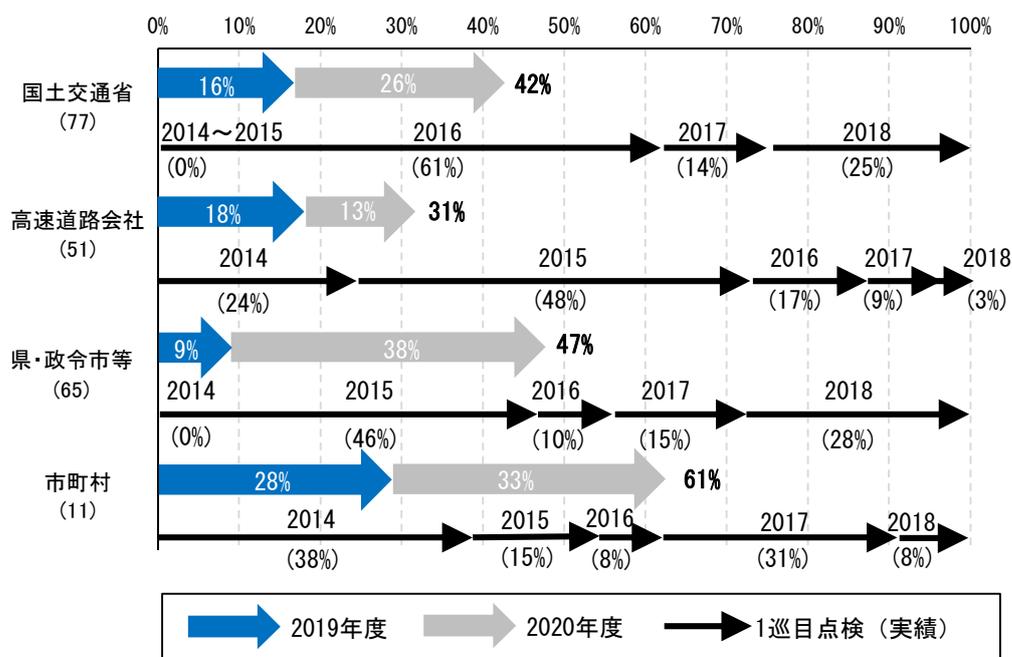


図3-10 2巡目(2019~2020年度)の点検実施率(道路附属物等)

※()内は、2019~2020年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100にならない場合がある。

表3-7 (2019~2020年度)の点検実施率(道路附属物等)

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	195	183	77	42% (0%)
高速道路会社	168	167	51	31% (72%)
県・政令市等	144	138	65	47% (46%)
市町村	22	18	11	61% (53%)
合計	529	506	204	40% (38%)

2021.3末時点

※1: 2021年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1巡目(2014~2015年度)における点検実施率。

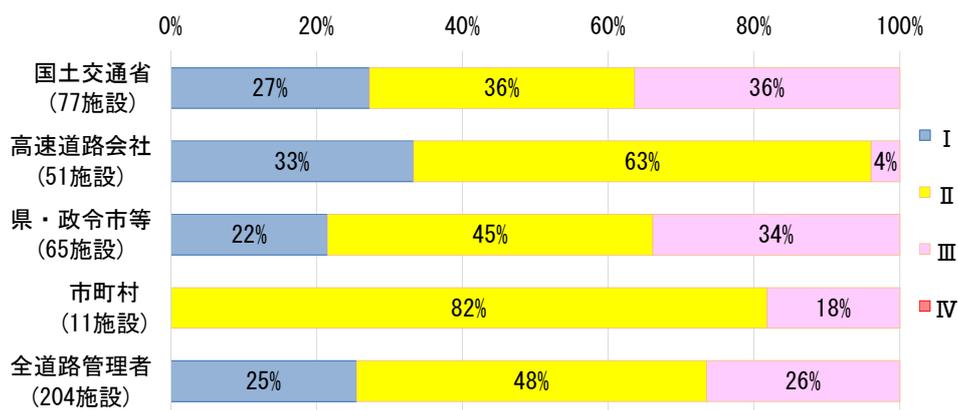


図 3 - 1 1 2 巡目 (2019~2020 年度) の判定区分の割合 (道路附属物等)

※ () 内は、2019~2020 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表 3 - 8 2 巡目 (2019~2020 年度) の判定区分の割合 (道路附属物等)

管理者	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	77	21	28	28	0
		27%	36%	36%	0%
高速道路会社	51	17	32	2	0
		33%	63%	4%	0%
県・政令市等	65	14	29	22	0
		22%	45%	34%	0%
市町村	11	0	9	2	0
		0%	82%	18%	0%
合計	204	52	98	54	0
		25%	48%	26%	0%

2021.3 末時点

【参考】1 巡目 (2014~2018 年度) の判定区分の割合 (道路附属物等)



図 3 - 1 2 1 巡目 (2014~2018 年度) の判定区分の割合 (道路附属物等)

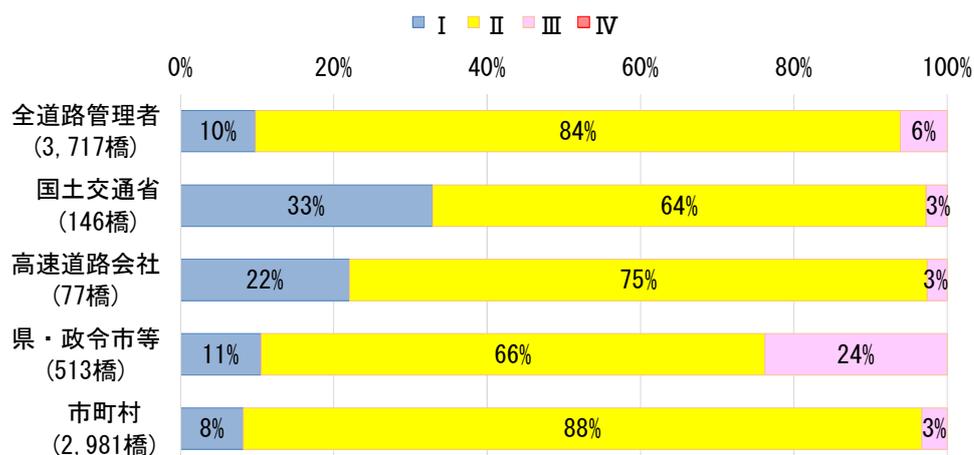
※2019 年 3 月時点での集計値
 ※ () 内は、1 巡目 (2014~2018 年度) に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

(3) 2019～2020 年度点検実施施設における判定区分の遷移状況

① 橋梁

1 巡目の 2014 年度及び 2015 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019 年度及び 2020 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で 6% です。

橋梁では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。



※ () 内は、1 巡目（2014 年度及び 2015 年度）の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁数の内、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019 年度及び 2020 年度に点検を実施した橋梁の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

図 3 - 1 3 管理者別の判定区分の遷移状況

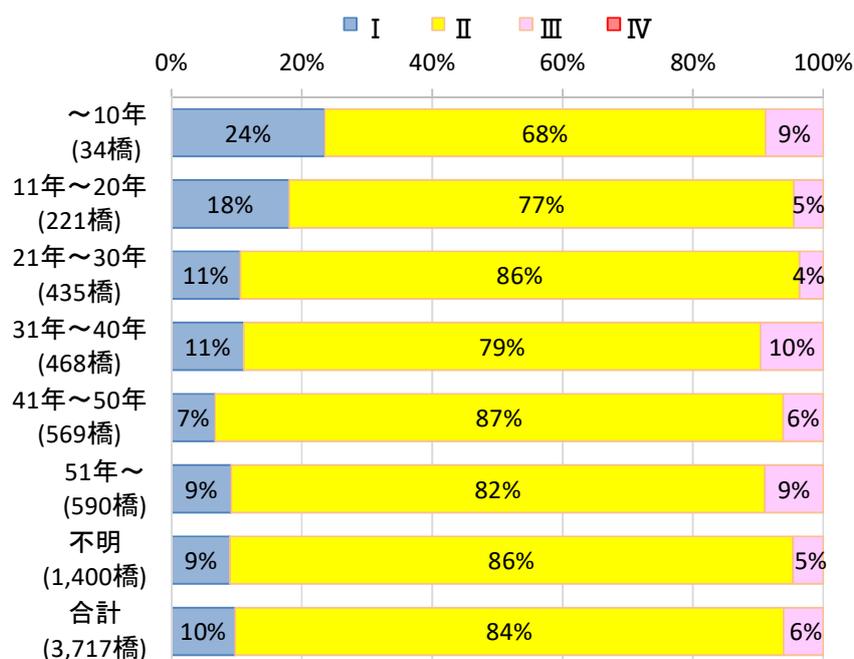


図 3 - 1 4 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

②トンネル

1 巡目の 2014 年度及び 2015 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019 年度及び 2020 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で 50% です。

トンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。

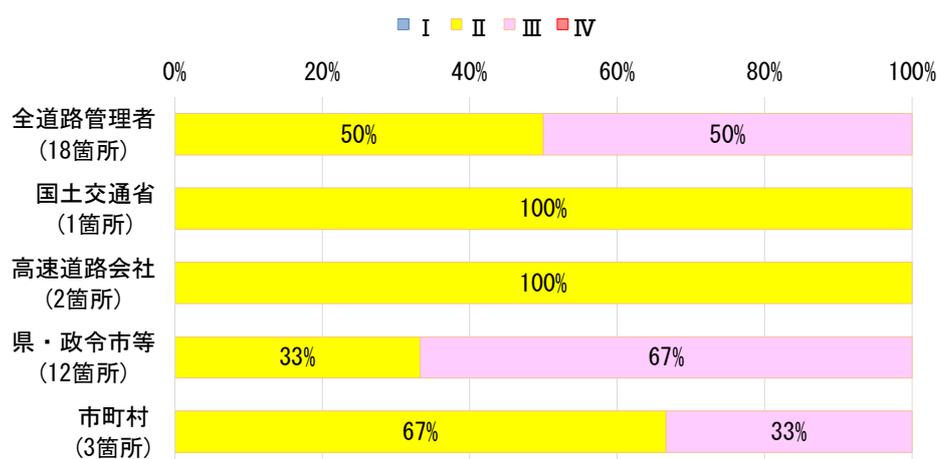


図 3 - 1 5 管理者別の判定区分の遷移状況

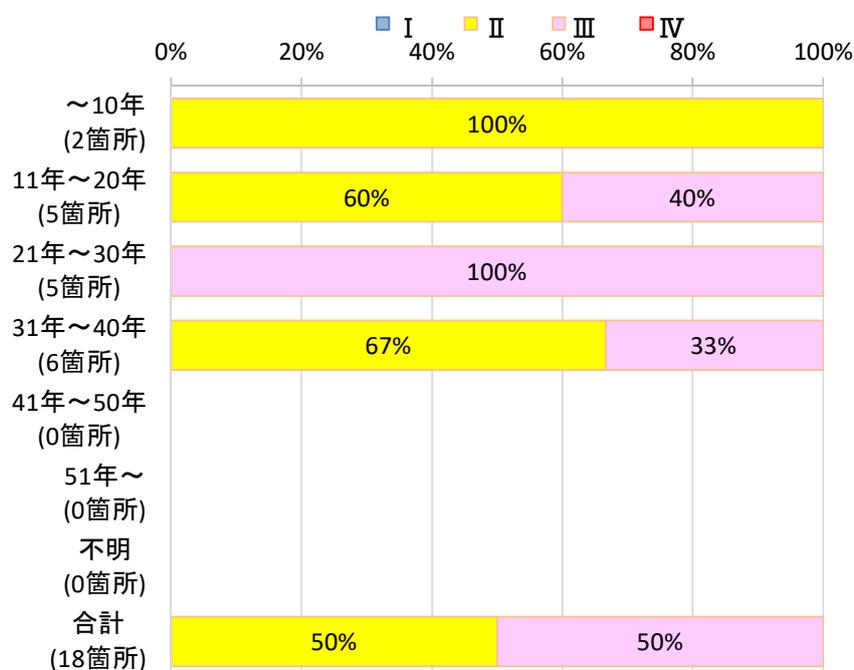


図 3 - 1 6 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

③道路附属物等

1 巡目の 2014 年度及び 2015 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019 年度及び 2020 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で 5% です。

道路附属物等では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。

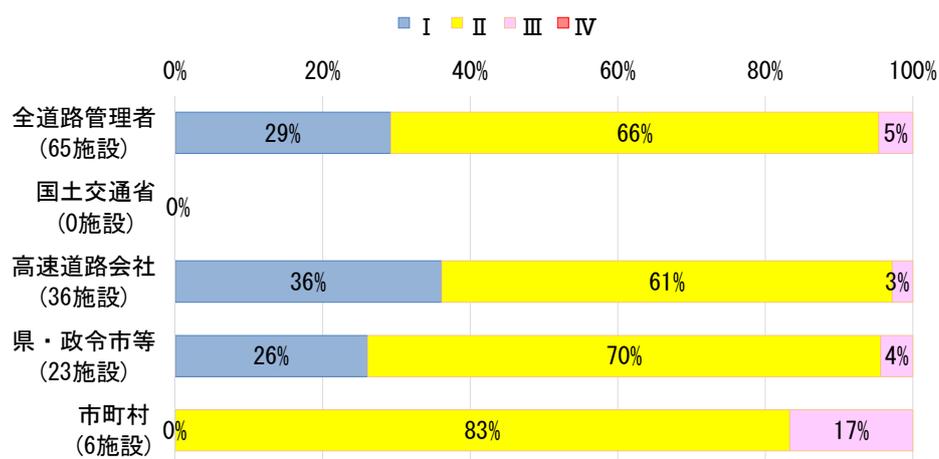


図 3 - 1 7 管理者別の判定区分の遷移状況

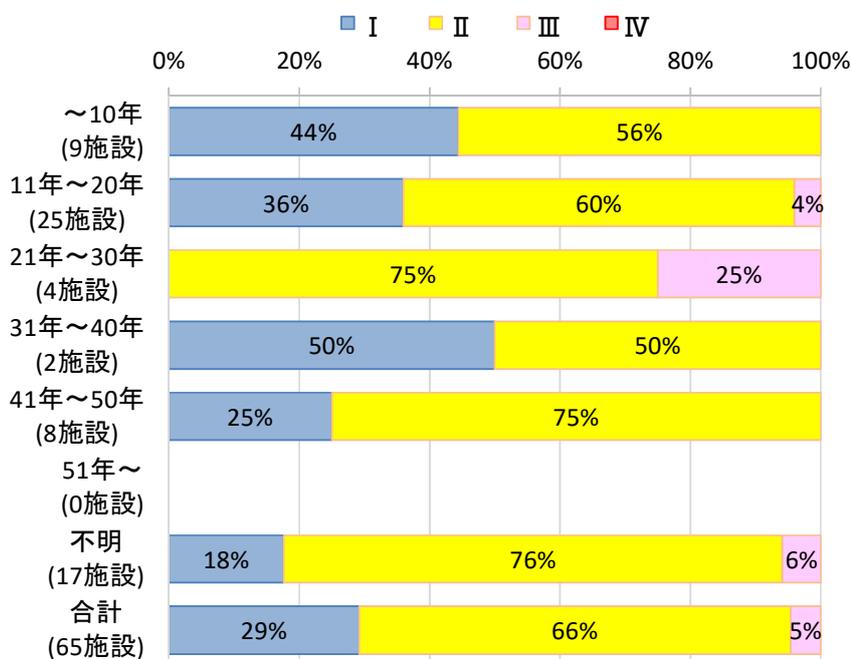


図 3 - 1 8 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

(4) 直近5年間(2016~2020年度)の点検結果(全道路管理者)

直近5年間(2016~2020年度)の点検における2020年度末時点での判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 16%、Ⅱ 74%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.03%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 41%、Ⅲ 57%、Ⅳ 0%、道路附属物等：Ⅰ 30%、Ⅱ 47%、Ⅲ 23%、Ⅳ 0%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

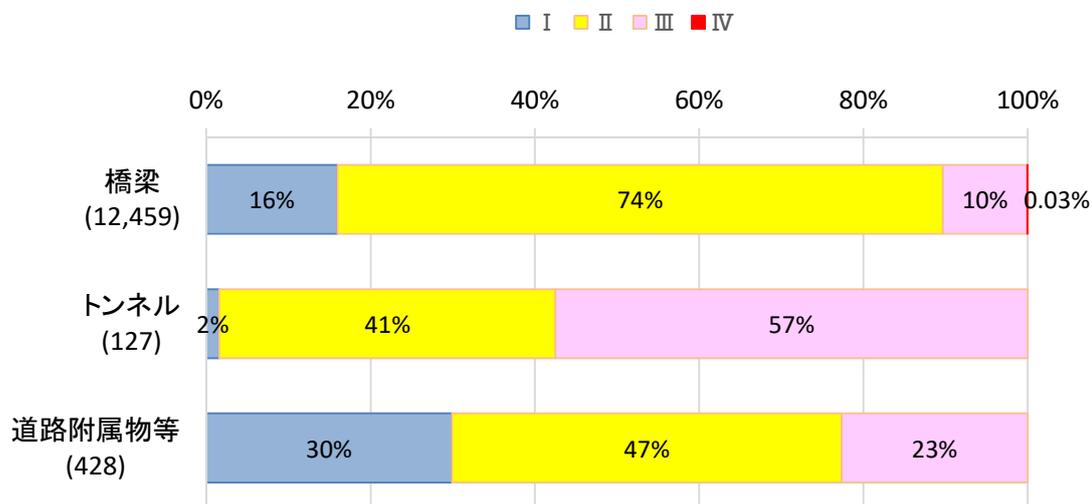


図3-19 直近5年間(2016~2020年度)の判定区分の割合(全道路管理者合計)

※ () 内は、2021年3月末時点の施設数のうち、2016~2020年度に点検を実施した施設数の合計。

※点検を実施した施設のうち、2021年3月末時点で診断中の施設を除く。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

① 橋梁

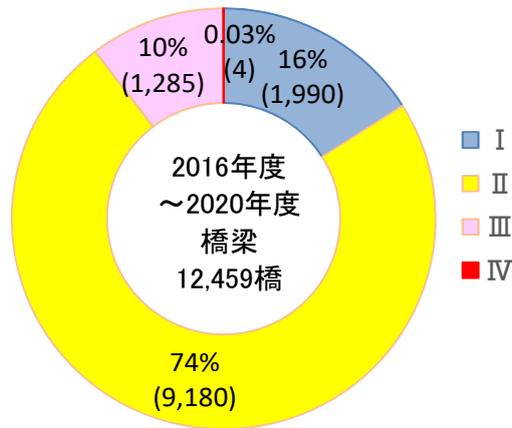


図3-20 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分の割合



図3-21 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分と建設後経過年数

②トンネル

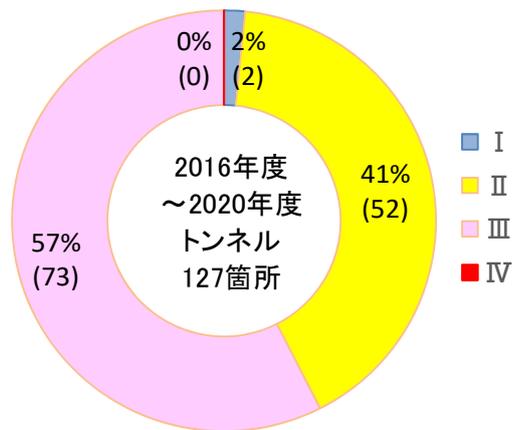


図3-22 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分の割合

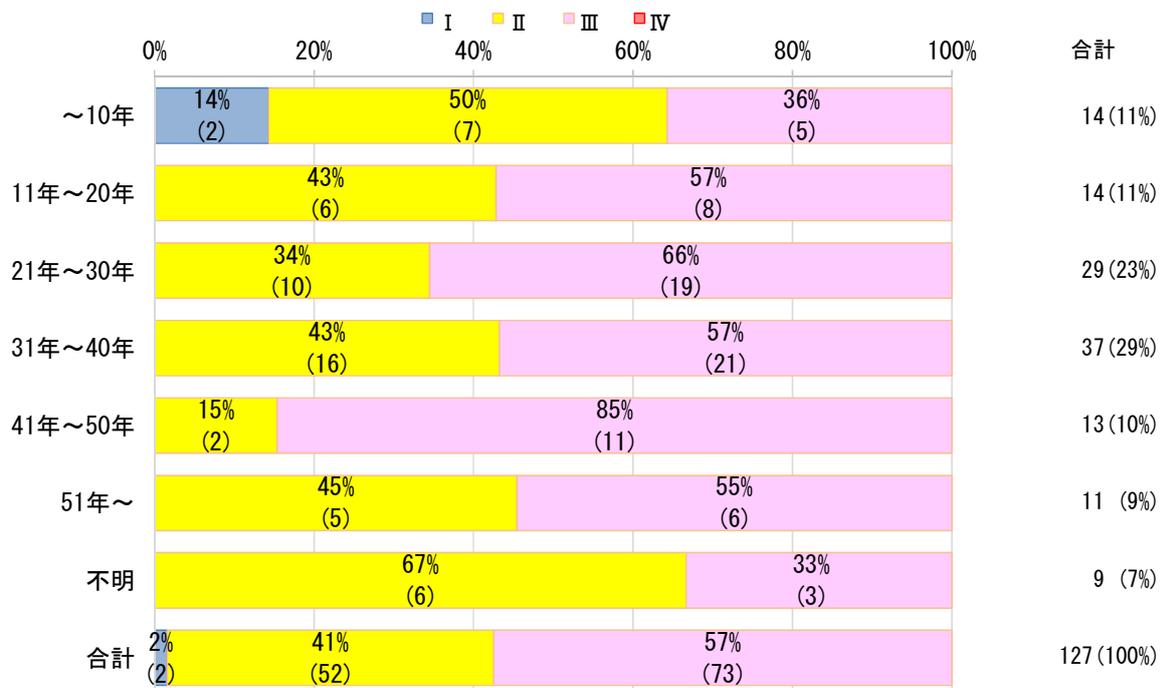


図3-23 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分と建設後経過年数

③道路附属物等

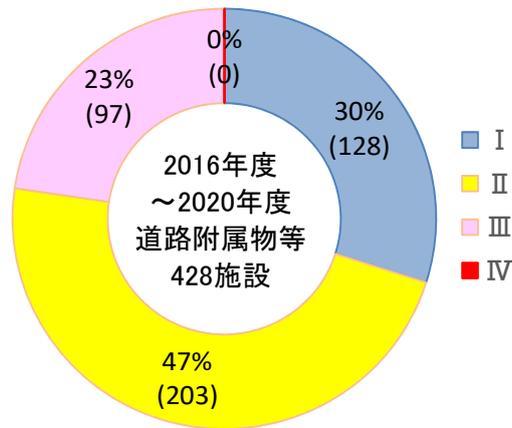


図3-24 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分の割合

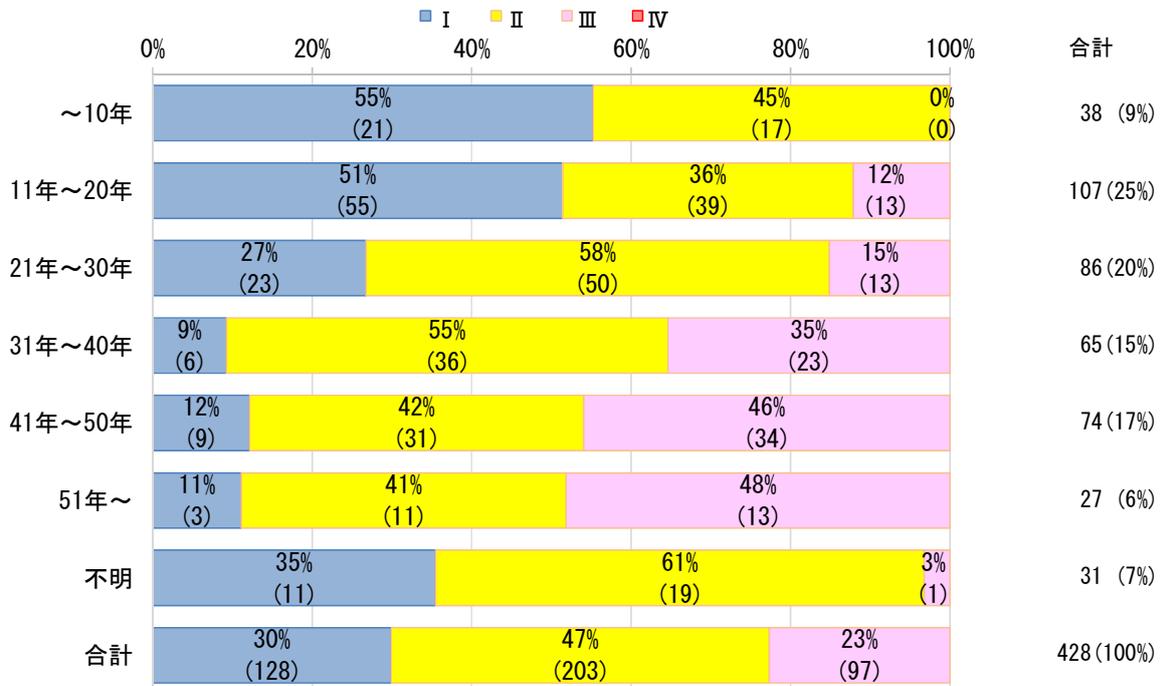


図3-25 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分と建設後経過年数

(5) 直近5年間(2016~2020年度)の点検結果(管理者別)

①橋梁

橋梁の直近5年間(2016~2020年度)の点検における2020年度末時点での判定区分の割合は、全道路管理者で、I 16%、II 74%、III 10%、IV 0.03%です。

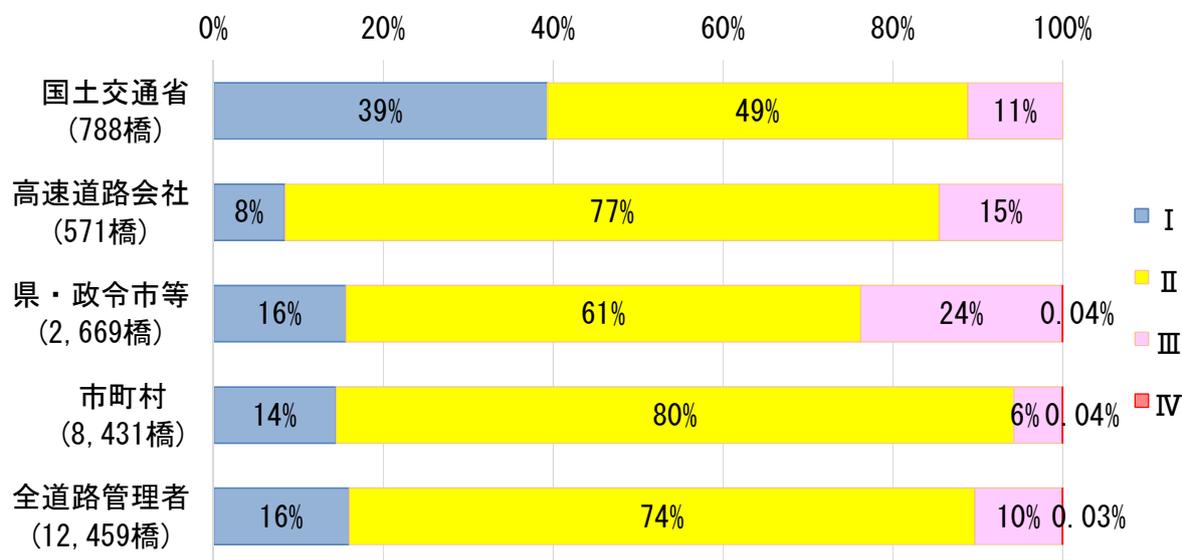


図3-26 直近5年間(2016~2020年度)の判定区分の割合(橋梁)

※()内は、直近5年間(2016~2020年度)に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-9 直近5年間(2016~2020年度)の判定区分の割合(橋梁)

管理者	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	788	310	390	88	0
		39%	49%	11%	0%
高速道路会社	571	48	440	83	0
		8%	77%	15%	0%
県・政令市等	2,669	416	1,618	634	1
		16%	61%	24%	0.04%
市町村	8,431	1,216	6,732	480	3
		14%	80%	6%	0.04%
合計	12,459	1,990	9,180	1,285	4
		16%	74%	10%	0.03%

2021.3末時点

②トンネル

トンネルの直近5年間（2016～2020年度）の点検における全道路管理者の2020年度末時点での判定区分の割合は、全道路管理者で、Ⅰ 2%、Ⅱ 41%、Ⅲ 57%、Ⅳ 0%です。



図3-27 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分の割合（トンネル）

※（）内は、直近5年間（2016～2020年度）に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-10 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分の割合（トンネル）

管理者	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	22	0	18	4	0
		0%	82%	18%	0%
高速道路会社	4	0	3	1	0
		0%	75%	25%	0%
県・政令市等	71	2	12	57	0
		3%	17%	80%	0%
市町村	30	0	19	11	0
		0%	63%	37%	0%
合計	127	2	52	73	0
		2%	41%	57%	0%

2021.3 末時点

③道路附属物等

道路附属物等の直近5年間（2016～2020年度）の点検における2020年度末時点での判定区分の割合は、全道路管理者で、Ⅰ 30%、Ⅱ 47%、Ⅲ 23%、Ⅳ 0%です。

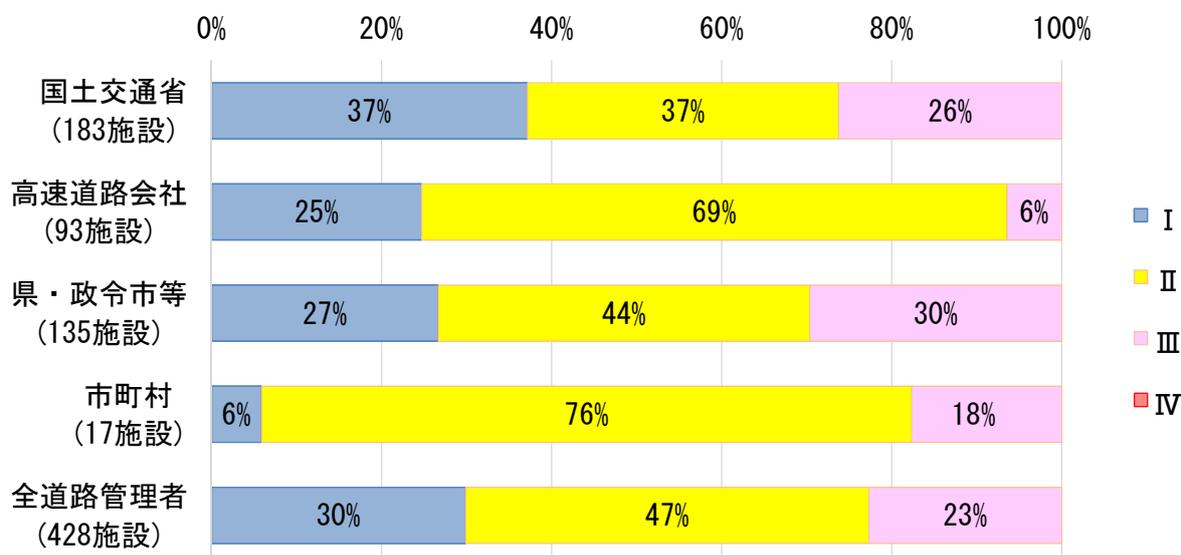


図3-28 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

※（）内は、直近5年間（2016～2020年度）に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-11 直近5年間（2016～2020年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

管理者	点検実施数	判定区分			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	183	68	67	48	0
		37%	37%	26%	0%
高速道路会社	93	23	64	6	0
		25%	69%	6%	0%
県・政令市等	135	36	59	40	0
		27%	44%	30%	0%
市町村	17	1	13	3	0
		6%	76%	18%	0%
合計	428	128	203	97	0
		30%	47%	23%	0%

2021.3 末時点

4 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

(1) 1 巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

各施設の修繕等措置については、定期点検の判定区分に応じて対策等を行います。

○判定区分Ⅲ

「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、次回点検まで（5年以内）に措置を講ずることとしています。

○判定区分Ⅳ

「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、損傷発見後、緊急に措置を講ずることとしています。

1) 判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況（2020年度末時点）

1 巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された施設の措置着手率（2020年度末時点）は、橋梁 68%、トンネル 93%、道路附属物等 70%となっています。

表 4-1 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置の実施状況（全道路管理者）

	措置が必要な 施設数 A	措置に着手済 の施設数 B (B/A)	措置に着工済 の施設数 C (C/A)	措置完了済 の施設数 D (D/A)
橋梁	1,250	850 (68%)	525 (42%)	439 (35%)
トンネル	61	57 (93%)	26 (43%)	22 (36%)
道路附属物等	86	60 (70%)	32 (37%)	24 (28%)

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置
(2014~2018)

2021.3 末時点

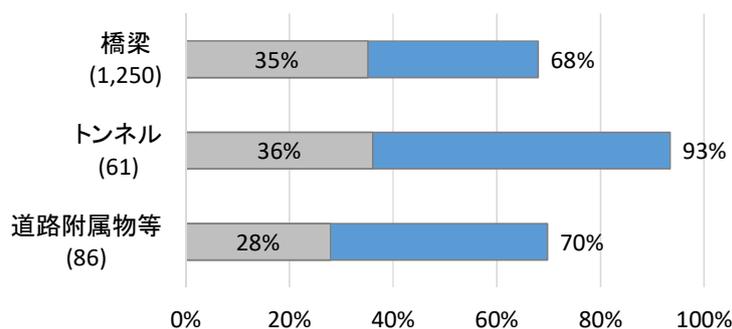


図 4-1 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置(2014年度~2018年度)

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)
措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

2021.3 末時点

①橋梁

1 巡目（2014～2018 年度）の点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された橋梁の修繕等の措置に着手した割合は、2020 年度末時点で国土交通省 89%、高速道路会社 65%、地方公共団体 66%です。

措置の完了率は、国土交通省 44%、高速道路会社 41%、地方公共団体 34%です。

表 4-2 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D※2 (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	102	91 (89%)	48 (47%)	45 (44%)	2014	100%	100%	100%	100%
					2015	65%	100%	65%	100%
					2016	32%	100%	32%	100%
					2017	24%	84%	24%	84%
					2018	13%	56%	13%	56%
高速道路会社	85	55 (65%)	40 (47%)	35 (41%)	2014	100%	100%	100%	100%
					2015	50%	100%	50%	100%
					2016	54%	69%	54%	69%
					2017	35%	65%	35%	65%
					2018	10%	45%	10%	45%
地方公共団体計	1,063	704 (66%)	437 (41%)	359 (34%)	2014	78%	96%	78%	96%
					2015	40%	66%	40%	66%
					2016	26%	74%	26%	74%
					2017	9%	43%	9%	43%
					2018	18%	44%	18%	44%
県・政令市等	492	264 (54%)	138 (28%)	94 (19%)	2014	50%	88%	50%	88%
					2015	23%	58%	23%	58%
					2016	28%	68%	28%	68%
					2017	10%	46%	10%	46%
					2018	6%	16%	6%	16%
市町村	571	440 (77%)	299 (52%)	265 (46%)	2014	80%	96%	80%	96%
					2015	51%	71%	51%	71%
					2016	24%	82%	24%	82%
					2017	8%	36%	8%	36%
					2018	28%	67%	28%	67%
合計	1,250	850 (68%)	525 (42%)	439 (35%)		35%	68%	35%	68%

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A) 2021.3 末時点
措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1 : 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2 : 2 巡目点検で再度Ⅲ、Ⅳと診断された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

②トンネル

1 巡目（2014～2018 年度）の点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2020 年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 93%です。

措置の完了率は、国土交通省 80%、高速道路会社 100%、地方公共団体 31%です。

表 4-3 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D※2 (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	5	5 (100%)	4 (80%)	4 (80%)	2014	100%	100%	100%	100%
					2015	100%	100%	100%	100%
					2016	0%	100%	100%	100%
					2017	—	—	—	—
					2018	—	—	—	—
高速道路会社	1	1 (100%)	1 (100%)	1 (100%)	2014	—	—	—	—
					2015	—	—	—	—
					2016	—	—	—	—
					2017	100%	100%	100%	100%
					2018	—	—	—	—
地方公共団体計	55	51 (93%)	21 (38%)	17 (31%)	2014	80%	100%	100%	100%
					2015	20%	100%	100%	100%
					2016	17%	100%	100%	100%
					2017	34%	90%	90%	90%
					2018	0%	75%	75%	75%
県・政令市等	42	42 (100%)	14 (33%)	10 (24%)	2014	100%	100%	100%	100%
					2015	20%	100%	100%	100%
					2016	0%	100%	100%	100%
					2017	24%	100%	100%	100%
					2018	0%	100%	100%	100%
市町村	13	9 (69%)	7 (54%)	7 (54%)	2014	0%	100%	100%	100%
					2015	—	—	—	—
					2016	67%	100%	100%	100%
					2017	63%	63%	63%	63%
					2018	0%	—	—	—
合計	61	57 (93%)	26 (43%)	22 (36%)		36%	93%	93%	93%

2021.3 末時点

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1: 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2: 2 巡目点検で再度Ⅲ、Ⅳと診断された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

③道路附属物等

1 巡目（2014～2018 年度）の点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2020 年度末時点で国土交通省 48%、高速道路会社 100%、地方公共団体 74%です。

措置の完了率は、国土交通省 0%、高速道路会社 71%、地方公共団体 33%です。

表 4-4 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D※2 (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	21	10 (48%)	0 (0%)	0 (0%)	2014	—	—	—	—
					2015	—	—	—	—
					2016	0%	83%	0%	0%
					2017	0%	—	0%	—
					2018	0%	—	0%	—
高速道路会社	7	7 (100%)	5 (71%)	5 (71%)	2014	—	100%	100%	100%
					2015	50%	100%	50%	100%
					2016	—	—	—	—
					2017	100%	100%	100%	100%
					2018	50%	100%	50%	100%
地方公共団体計	58	43 (74%)	27 (47%)	19 (33%)	2014	0%	—	0%	—
					2015	47%	92%	47%	92%
					2016	17%	100%	17%	100%
					2017	0%	20%	0%	20%
					2018	0%	—	0%	—
県・政令市等	56	43 (77%)	27 (48%)	19 (34%)	2014	—	—	—	—
					2015	47%	92%	47%	92%
					2016	17%	100%	17%	100%
					2017	0%	20%	0%	20%
					2018	0%	—	0%	—
市町村	2	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2014	0%	—	0%	—
					2015	—	—	—	—
					2016	—	—	—	—
					2017	—	—	—	—
					2018	0%	—	0%	—
合計	86	60 (70%)	32 (37%)	24 (28%)		28%	70%	28%	70%

2021.3 末時点

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1: 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2: 2 巡目点検で再度Ⅲ、Ⅳと診断された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

(2) 直近5年間の点検施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

直近5年間(2016~2020年度)の点検で早期に措置を講ずるべき状態(判定区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(判定区分Ⅳ)と診断された橋梁の修繕等の措置に着手した割合は、2020年度末時点で国土交通省76%、高速道路会社59%、地方公共団体42%です。

措置の完了率は、国土交通省18%、高速道路会社34%、地方公共団体9%です。

表4-5 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	88	67 (76%)	19 (22%)	16 (18%)	2016	32%	100%	32%	100%
					2017	24%	84%	24%	84%
					2018	13%	56%	13%	56%
					2019	0%	56%	0%	56%
					2020	0%	54%	0%	54%
高速道路会社	83	49 (59%)	33 (40%)	28 (34%)	2016	70%	78%	70%	78%
					2017	38%	62%	38%	62%
					2018	13%	53%	13%	53%
					2019	18%	45%	18%	45%
					2020	0%	38%	0%	38%
地方公共団体計	1,118	473 (42%)	170 (15%)	101 (9%)	2016	30%	86%	30%	86%
					2017	9%	42%	9%	42%
					2018	14%	41%	14%	41%
					2019	0%	34%	0%	34%
					2020	1%	24%	1%	24%
県・政令市等	635	213 (34%)	89 (14%)	53 (8%)	2016	39%	89%	39%	89%
					2017	10%	46%	10%	46%
					2018	6%	16%	6%	16%
					2019	0%	9%	0%	9%
					2020	0%	20%	0%	20%
市町村	483	260 (54%)	81 (17%)	48 (10%)	2016	22%	84%	22%	84%
					2017	6%	35%	6%	35%
					2018	22%	64%	22%	64%
					2019	1%	60%	1%	60%
					2020	3%	31%	3%	31%
合計	1,289	589 (46%)	222 (17%)	145 (11%)		11%	46%	11%	46%

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

2021.3末時点

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1: 直近5年間(2016~2020年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

②トンネル

直近5年間(2016~2020年度)の点検で早期に措置を講ずるべき状態(判定区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(判定区分Ⅳ)と診断されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2020年度末時点で国土交通省33%、高速道路会社100%、地方公共団体93%です。

措置の完了率は、国土交通省0%、高速道路会社100%、地方公共団体21%です。

表4-6 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	3	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	2016	0%	100%	—	—
					2017	—	—	—	—
					2018	—	—	—	—
					2019	—	—	—	—
					2020	0%	—	—	—
高速道路会社	1	1 (100%)	1 (100%)	1 (100%)	2016	—	—	—	—
					2017	—	100%	100%	—
					2018	—	—	—	—
					2019	—	—	—	—
					2020	—	—	—	—
地方公共団体計	68	63 (93%)	18 (26%)	14 (21%)	2016	0%	100%	—	—
					2017	34%	90%	—	—
					2018	0%	75%	—	—
					2019	25%	94%	—	—
					2020	0%	100%	—	—
県・政令市等	57	57 (100%)	13 (23%)	9 (16%)	2016	0%	100%	—	—
					2017	24%	100%	—	—
					2018	0%	100%	—	—
					2019	29%	100%	—	—
					2020	0%	100%	—	—
市町村	11	6 (55%)	5 (45%)	5 (45%)	2016	—	—	—	—
					2017	63%	63%	—	—
					2018	0%	—	—	—
					2019	0%	50%	—	—
					2020	—	—	—	—
合計	72	65 (90%)	19 (26%)	15 (21%)		21%	90%		

2021.3末時点

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1: 直近5年間(2016~2020年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

③道路附属物等

直近5年間(2016~2020年度)の点検で早期に措置を講ずるべき状態(判定区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(判定区分Ⅳ)と診断された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2020年度末時点で国土交通省21%、高速道路会社83%、地方公共団体56%です。

措置の完了率は、国土交通省0%、高速道路会社50%、地方公共団体2%です。

表4-7 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	48	10 (21%)	0 (0%)	0 (0%)	2016	0%	83%	0%	0%
					2017	0%			
					2018	0%			
					2019	0%			
					2020	0%			
高速道路会社	6	5 (83%)	3 (50%)	3 (50%)	2016	—	—	—	—
					2017	—	100%	—	100%
					2018	50%	100%	—	100%
					2019	0%			
					2020	0%	100%		100%
地方公共団体計	43	24 (56%)	8 (19%)	1 (2%)	2016	17%	100%	—	—
					2017	0%	20%	—	—
					2018	0%			
					2019	0%	100%		100%
					2020	0%	56%		56%
県・政令市等	40	24 (60%)	8 (20%)	1 (3%)	2016	17%	100%	—	—
					2017	0%	20%	—	—
					2018	0%			
					2019	0%	100%		100%
					2020	0%	63%		63%
市町村	3	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2016	—	—	—	—
					2017	—	—	—	—
					2018	0%			
					2019	—			
					2020	0%			
合計	97	39 (40%)	11 (11%)	4 (4%)		4%	40%		

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

2021.3末時点

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1: 直近5年間(2016~2020年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

(3) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

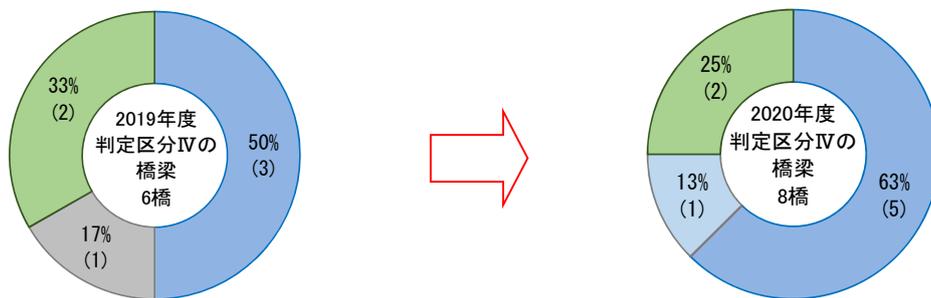
2020年度末時点で判定区分Ⅳと診断された橋梁は、8橋あり、5橋は修繕・架替、1橋は撤去・廃止中、2橋は撤去・廃止済みの状況です。またトンネル及び道路附属物等は、2020年度末時点で判定区分Ⅳと診断された施設はありませんでした。

老朽化した道路インフラの適正な維持管理を行っていくうえでも、ライフサイクルコストや地域の状況を踏まえて、必要に応じて施設の集約化・撤去などにより合理化を図っていく必要があります。

※Ⅳ判定の施設リストは巻末資料(5)を参照

○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況(予定含む)

■ 修繕・架替 ■ 機能転換 ■ 対応未定 ■ 撤去・廃止中(予定含む) ■ 撤去・廃止済等



(4) 修繕等措置の取り組み事例

①判定区分Ⅲの修繕事例（橋梁）

施設名：^{すかしかわはし}透川橋
 管理者：宮城県
 路線名：（主）古川佐沼線
 位置：宮城県栗原市
 建設年：1963年（昭和38年）
 主な損傷：伸縮装置、高欄の劣化



写真4-1 【全景】透川橋



写真4-2 【損傷】
伸縮装置、高欄の劣化



写真4-3 【対策】
伸縮装置取り換え、高欄補修

施設名：^{おおはし}かむり大橋
 管理者：仙台市
 路線名：（主）仙台泉線
 位置：仙台市泉区八乙女中央二丁目
 建設年：1983年（昭和58年）
 主な損傷：支承防錆工、橋面防水工等



写真4-4 【全景】かむり大橋



写真4-5 【損傷】支承の腐食



写真4-6 【対策】支承防錆

施設名：^{よりかどばし}寄門橋
 管理者：村田町
 路線名：町道元関場鹿野線
 位置：宮城県柴田郡村田町
 建設年：不明
 主な損傷：主桁及び支承の腐食



写真4-7 【全景】寄門橋



写真4-8 【損傷】
主桁及び支承の腐食



写真4-9 【対策】
当て板補修、支承補修、塗装塗替等

②判定区分Ⅲの修繕事例（トンネル）

施設名：^{からくわ}唐桑トンネル
 管理者：国土交通省
 仙台河川国道事務所
 路線名：国道45号
 位置：宮城県気仙沼市
 建設年：1969年（昭和44年）
 主な損傷：浮き・はく離



写真4-10 【全景】唐桑トンネル



写真4-11 【損傷】
打ち継ぎ目箇所の浮き・はく離



写真4-12 【対策】
はく落防止（炭素繊維+メッシュシート）

施設名：しおりふれあいトンネル
管理者：宮城県
路線名：（一）利府中インター線
位置：宮城県塩竈市
建設年：2001年（平成13年）
主な損傷：浮き・はく離



写真4-13 【全景】
しおりふれあいトンネル

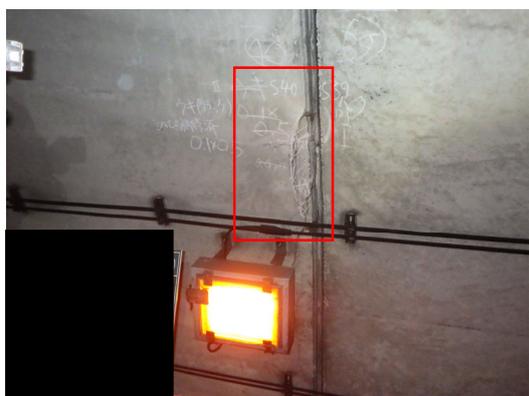


写真4-14 【損傷】うき・はく離



写真4-15 【対策】
はく落防止（メッシュシート）

(5) 橋梁の損傷傾向

1) 地勢

宮城県は、奥羽山脈の影響を受ける積雪地域や寒冷な平野部があり、冬期は厳しい気象条件となっています。

また、重要港湾等を抱えており、東北の経済産業の中核都市として位置付けられています。そのため、交通量、重交通量が多いことから、積雪が比較的少ない平野部においても、全域にわたって凍結抑制剤が散布されている実態があります。



図4-2 宮城県の地域的特徴

【凍結抑制剤による損傷事例】

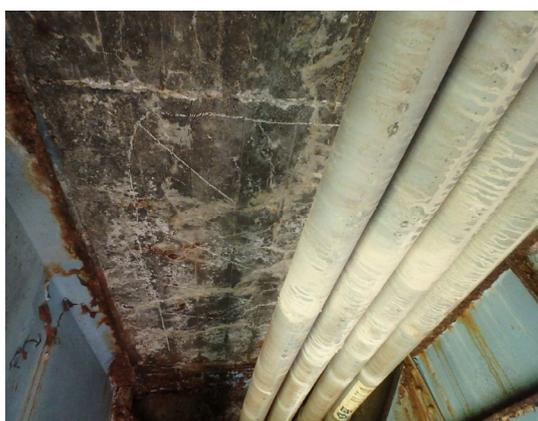


写真4-16 RC床版のひびわれ
錆汁を伴う漏水・遊離石灰

【凍害による損傷事例】



写真4-17 沓座部コンクリートの剥離

2) 長寿命化に向けて

橋梁の損傷の多くは支承や橋桁端部に集中しており、伸縮装置からの凍結抑制剤の塩分を含んだ漏水が原因と考えられます。また、床版においても、路面水の浸透が劣化を早める原因と考えられます。このため、伸縮装置や橋面の止水・防水・排水対策等を適切に行い、長寿命化を図ることが重要となっています。

3) 凍結抑制剤の影響

凍結抑制剤の散布量の影響について分析した結果、散布量が少ない橋梁に比べ、散布量が多い橋梁の健全度が低い傾向です。

部材別では、上部工部材（主桁、横桁、床版）の損傷が多い傾向が見られます。

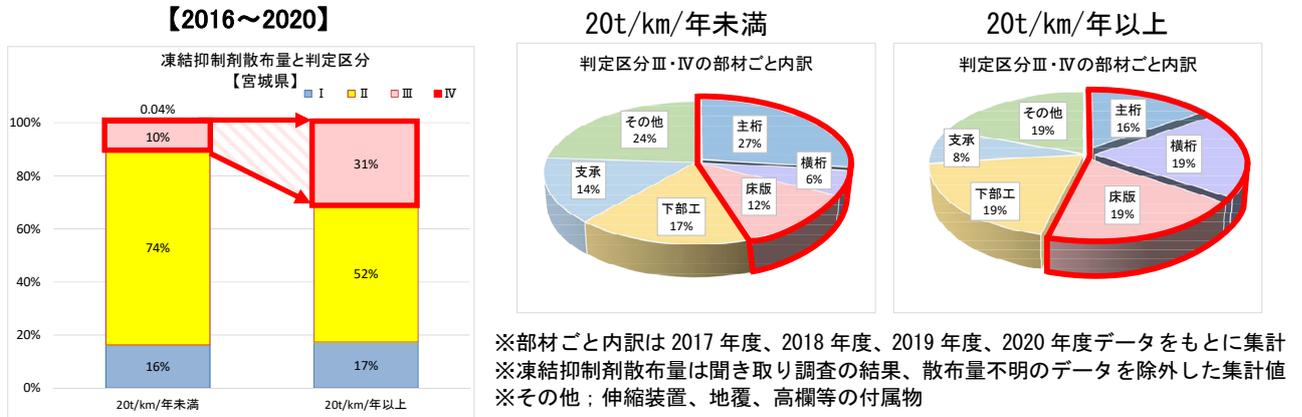


図 4 - 3 凍結抑制剤散布量別の橋梁判定区分及び判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳

4) 塩害の影響

飛来塩分の影響について分析した結果、内陸部に位置する非塩害地域の橋梁に比べ、海岸線に近い塩害地域の橋梁の健全度が低い傾向です。

部材別では、その他の部材の損傷が多い傾向が見られます。

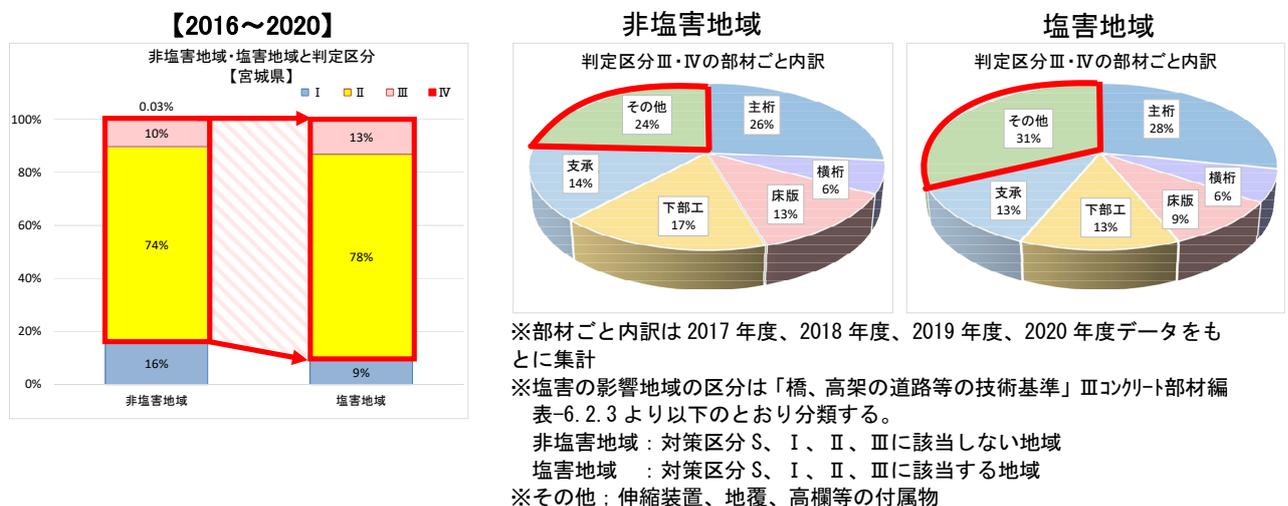


図 4 - 4 非塩害地域・塩害地域別の橋梁判定区分及び判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳

(6) 個別施設計画の策定状況

各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき長寿命化修繕計画（個別施設計画）※を策定しています。

長寿命化修繕計画（個別施設計画）に基づき、メンテナンスサイクルを予防保全型へ転換することにより施設の長寿命化を図るものです。

また、長寿命化修繕計画（個別施設計画）は、計画的に対策を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減や維持管理費の平準化を目指します。

さらに、計画的な定期点検を行い、新たに措置が必要な施設についても確実に対策を実施していくため、長寿命化修繕計画（個別施設計画）はその都度更新します。

2020年度末時点における県内の市町村の長寿命化修繕計画（個別施設計画）の策定状況は、橋梁 100%、トンネル 80%、道路附属物等 73%となっています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な対応方針を定めた計画

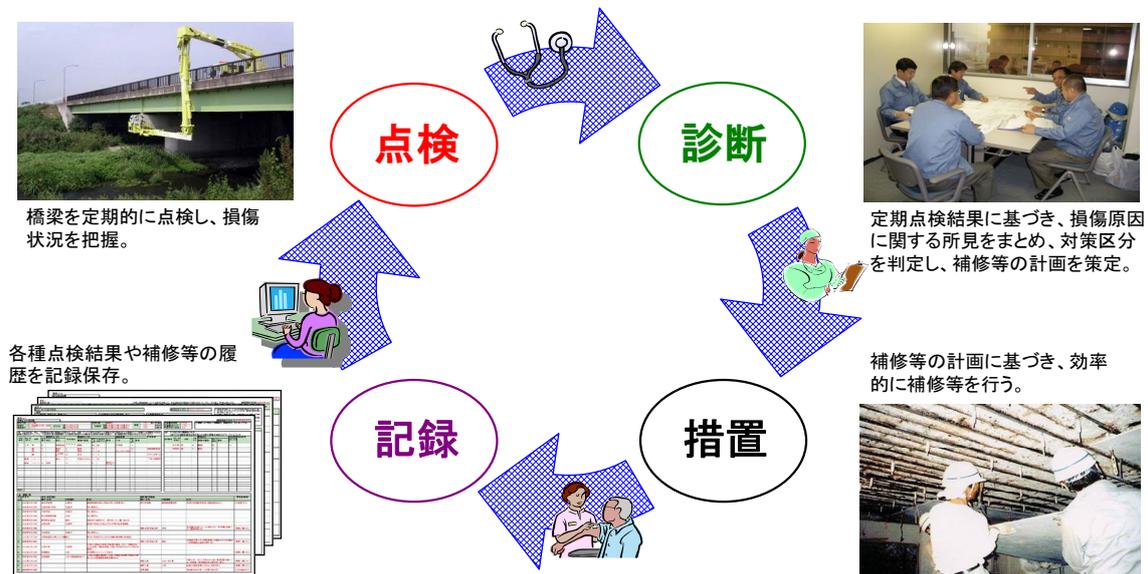
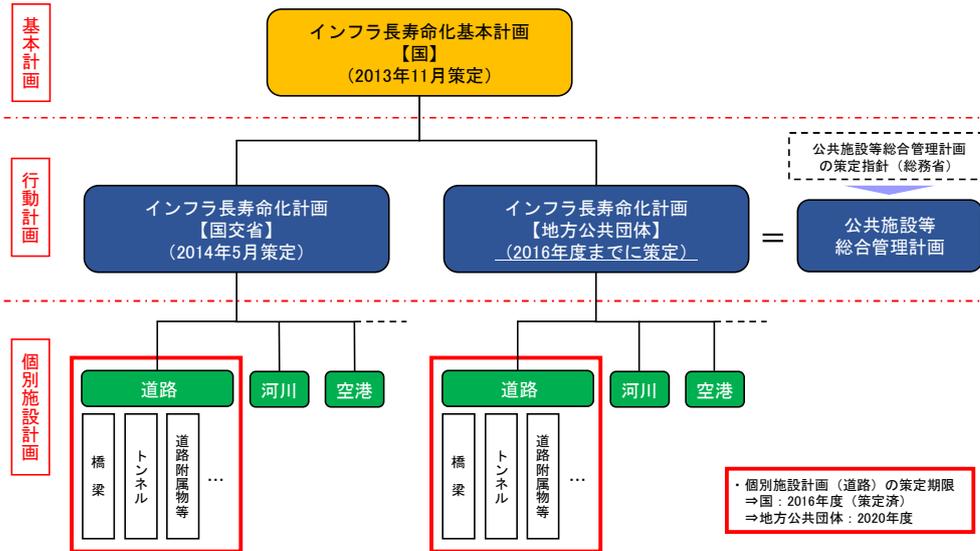


図 4-5 橋梁保全のマネジメント図

○ インフラ長寿命化計画の体系



○ 個別施設計画の策定状況(2020年度末時点)

表4-8 個別施設計画の策定状況

〈橋梁〉				〈トンネル〉				〈道路附属物等〉			
管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数	管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数	管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数
国土交通省	100%	1	1	国土交通省	100%	1	1	国土交通省	100%	1	1
高速道路会社	100%	1	1	高速道路会社	100%	1	1	高速道路会社	100%	1	1
県・政令市等	100%	2	2	県・政令市等	100%	2	2	県・政令市等	100%	2	2
市町村	100%	34	34	市町村	80%	15	12	市町村	73%	11	8

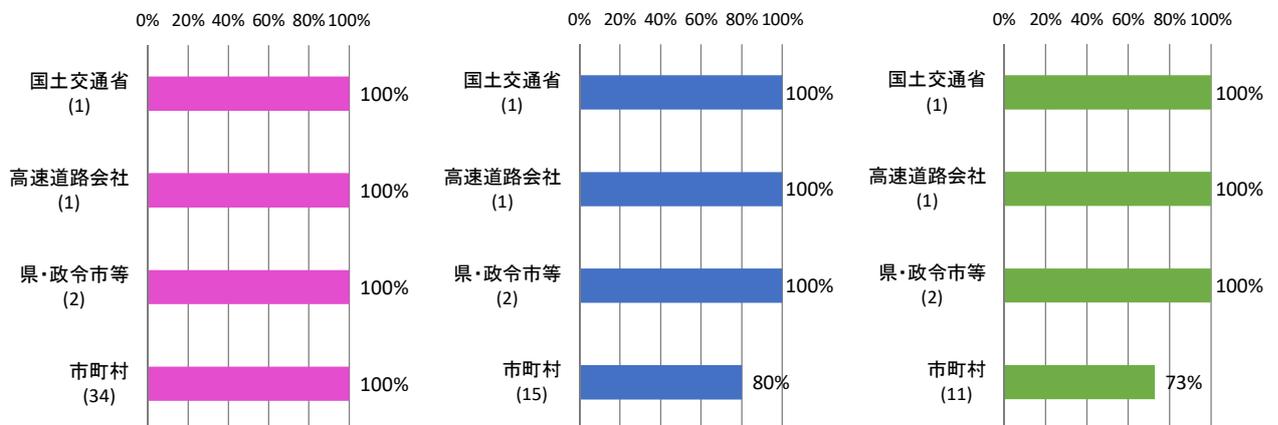


図4-6 個別施設計画の策定率

※()は団体数

※2021年9月末時点の集計値

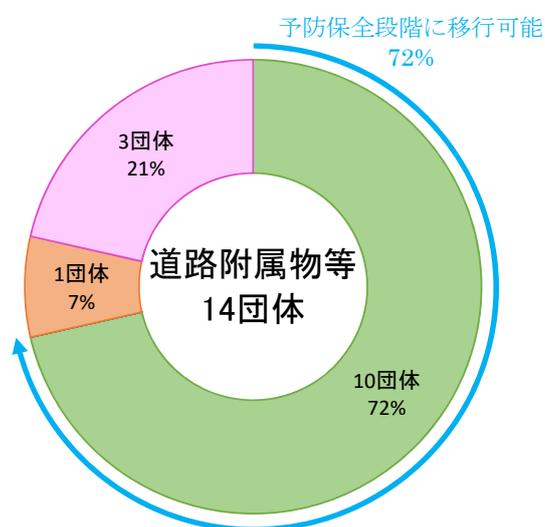
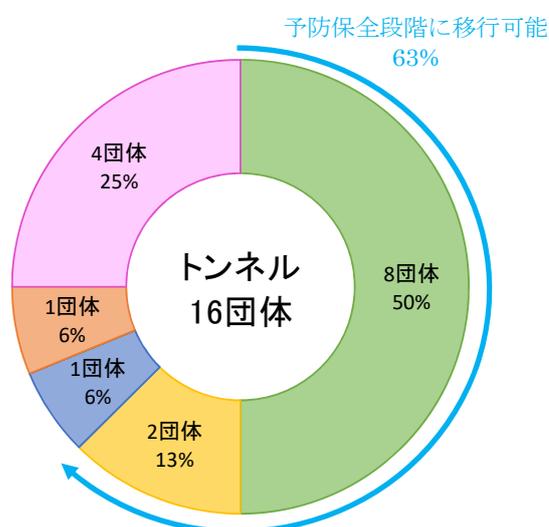
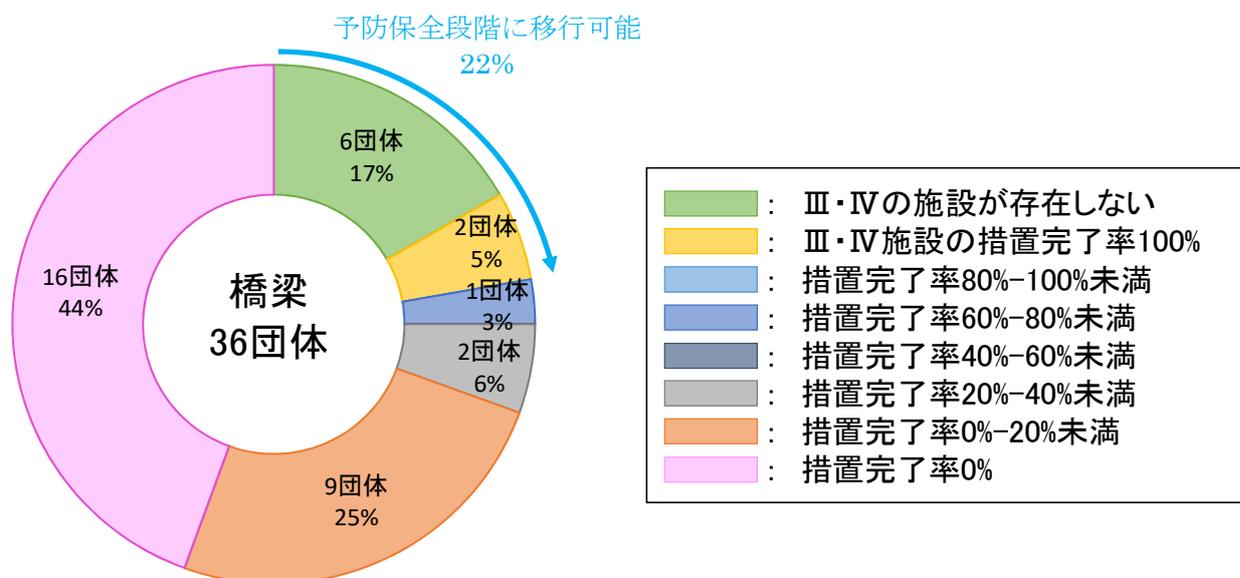
※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている

5 予防保全への移行状況

1) 地方公共団体の予防保全への移行状況

橋梁の修繕等の措置が予防保全段階に移行可能と考えられる地方公共団体（判定区分Ⅲ・Ⅳの施設が存在しない、または修繕等の措置が完了している団体）は、2020年度末時点で22%に留まっており、措置完了率が20%未満の団体が半数以上を占めています。



※団体数は、2020年度末時点の点検対象施設（管理施設のうち、供用後5年以内などを除いた施設）を管理する都道府県、市町村の合計。

※措置完了率は、2020年度末時点で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された施設の修繕等の措置が完了した割合。

※2021年3月末時点の集計値

6 道路メンテナンス会議の取り組み

宮城県道路メンテナンス会議は、インフラの老朽化対策が社会的な課題となり、橋梁・トンネル等の定期的な点検がスタートした2014年度に、技術力の向上、インフラの長寿命化の推進、さらには道路インフラの維持管理についての情報共有や課題解決への連携と道路の管理を効果的に行っていくことが急務であるとして、県内の道路管理者が一体的連携を図るための組織として設置されました。

特に市町村では、道路構造物の維持管理についての技術ノウハウや土木技術系職員が不足しているなど課題がある中で、道路インフラを適正に維持管理していくことが重要であるため、宮城県道路メンテナンス会議では、市町村の技術的支援に重点をおいた活動を展開しています。



写真6-1 溝橋点検講習会
(コロナ対策で動画講習)



写真6-2 点検支援技術講習会
(国道4号名取大橋)



写真6-3 溝橋講習会の様子
(国道48号西-14ボックス)



写真6-4 パネル展示状況
(青葉地下道ギャラリー)

○これまでの取り組み

表6-1 取り組み経緯

年度	月	会議開催	研修・講習会	広報活動	
2014 (H26)	4~6	6/10 道路メンテナンス会議設立 第1回会議		6/24~7/3 道の駅三本木パネル展示 6/30~7/11 宮城県庁内パネル展示	
	7~9	9/1 第2回会議	8/5 学生による橋梁点検実習 大学生他参加者8名 9/10 現地研修会(名取大橋) 市町村参加者74名	8/4~29 青葉通地下道パネル展示	
	10~12			11/15 現地見学会(多賀城橋) 一般参加者33名	
	1~3	1/15 第3回会議 3/24 公道橋連絡会議(設立)			
2015 (H27)	4~6	6/8 第1回会議			
	7~9	8/28 第2回会議			
	10~12			12/11~1/8 道の駅三本木パネル展示 12/28~1/29 青葉通地下道パネル展示	
2016 (H28)	1~3	1/14 第3回会議	1/28 現地研修会(柴田大橋) 市町村参加者48名	1/上~2/上 あら伊達な道の駅パネル展示 1/25~2/12 宮城県庁内パネル展示	
	4~6				
	7~9	7/13 第1回会議 7/25 公道橋連絡会議	7/19 現地研修会(高清水橋) 市町村参加者59名		
	10~12	11/9 メンテナンス意見交換会		11/12 親と子の道路メンテナンス体験会 一般参加者17名	
2017 (H29)	1~3	3/13 第2回会議 3/13 道路鉄道連絡会議	2/24 点検研修会(座学) 市町村参加者47名	2/16~28 青葉通地下道パネル展示 3/1~5/31 道の駅三本木パネル展示 3/1~5/31 あら伊達な道の駅パネル展示 ~5/31 道の駅三本木パネル展示 ~5/31 あら伊達な道の駅パネル展示	
	4~6				
	7~9	8/3 第1回会議 8/3 公道橋連絡会議	9/28 耐震講習会(名取川橋) 市町村参加者60名	9/16~17 ハイウェイフェスタとうほく2017	
	10~12	12/19 第2回会議	11/7 橋梁点検研修(大童橋) 市町村参加者40名		
	1~3	2/27 第3回会議 2/27 道路鉄道連絡会議			
2018 (H30)	4~6				
	7~9	8/3 第1回会議	9/19 道路メンテナンス入門講座 市町村参加者17名	8/1~10 青葉通地下道ギャラリーパネル展示 9/22.23 ハイウェイフェスタとうほく2018 ブース開設、パネル展示	
	10~12		10/2 既設橋の耐震対策講習会(綱木川橋) 市町村参加者17名		
			10/25 橋梁の大規模修繕現場見学会 (三迫川橋) 市町村参加者8名		
			11/27 構造物点検研修会(4号新葦神橋) 市町村参加者11名		
			12/5 構造物点検研修会(45号古川橋) 市町村参加者14名		
1~3	2/20 道路鉄道連絡会議	2/7 橋梁点検研修(大童橋) 市町村参加者25名	1/16~31 青葉通地下道ギャラリーパネル展示 1/22~ あら伊達な道の駅パネル展示 1/22~ 道の駅三本木パネル展示 2/12~15 宮城県庁内パネル展示		
2019 (R1)	4~6	4/12 第2回会議 6/12 事務局会議	6/11 橋梁の大規模修繕現場見学会 場所:迫川橋(東北道) 市町村参加者20名 6/26 既設橋の耐震対策講習会 場所:仙台南IC橋(東北道) 市町村参加者10名		
	7~9	8/27 第1回会議	9/26 道路メンテナンス入門講座(座学) 市町村参加者6名	8/1~30 青葉通地下道ギャラリーパネル展示 9/21.22 ハイウェイフェスタとうほく 2019ブース開設、 老朽化対策パネル展示 場所:仙台市勾当台公園	
	10~12		10/9 溝橋点検講習会 (国道48号西-10ボックス) 市町村参加者18名	10/7 県版道路メンテナンス概要公表 12/27~ 老朽化対策パネル展示 場所:道の駅三本木 あ・ら・伊達な道の駅	
	1~3	3/5 道路鉄道連絡会議 第2回会議 (コロナ対策で文書開催)		2/25~28 老朽化対策パネル展示 場所:県庁1Fロビー	
	4~6				
2020 (R2)	7~9	7/7 事務局会議 9/11 第1回会議		8/1~30 青葉通地下道ギャラリーパネル展示	
	10~12		11/26 橋梁点検研修(座学) 市町村参加者57名	12/9 県版道路メンテナンス概要公表	
	1~3	2/8 道路鉄道連絡会議 第2回会議	3/4 点検支援技術活用講習会 (4名名取大橋) 市町村参加者16名	1/25~ 老朽化対策パネル展示 場所:道の駅三本木 あ・ら・伊達な道の駅 3/15~ 老朽化対策パネル展示(予定) 場所:県庁1Fロビー	

7 参考資料（東北と県全体の比較）

(1) 建設年度別施設数・建設後 50 年経過した割合.....	40
(2) 道路管理者別施設数内訳.....	41
(3) 2 巡目（2019～2020 年度）道路管理者別点検結果内訳	42
(4) 2 巡目（2019～2020 年度）点検実施施設における道路管理者別判定区分の遷移状況... 43	
(5) 2 巡目（2019～2020 年度）点検実施施設における建設年数別の遷移状況	44
(6) 直近 5 年間（2016～2020 年度）道路管理者別点検結果内訳	45
(7) 直近 5 年間（2016～2020 年度）点検実施施設における建設年数別の遷移状況	46
(8) 部材ごとの点検結果内訳（橋梁）	47
(9) 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごとの内訳(橋梁)	49

(1) 建設年度別施設数・建設後50年経過した割合

■ 橋梁

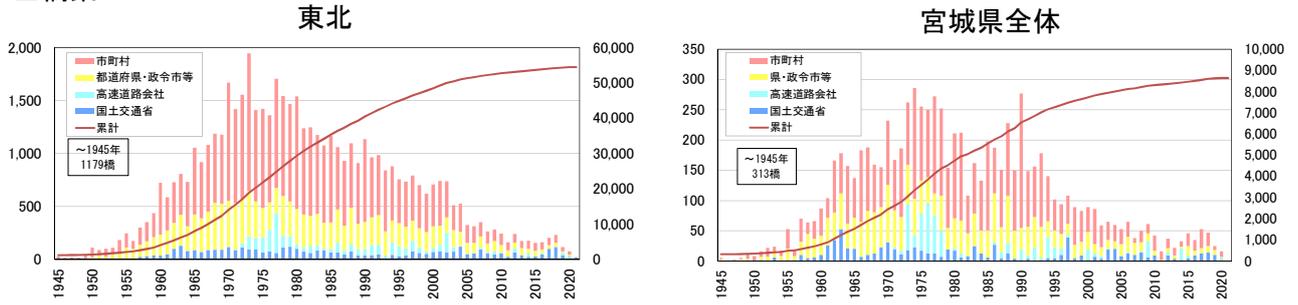


図7-1 建設年度別施設数

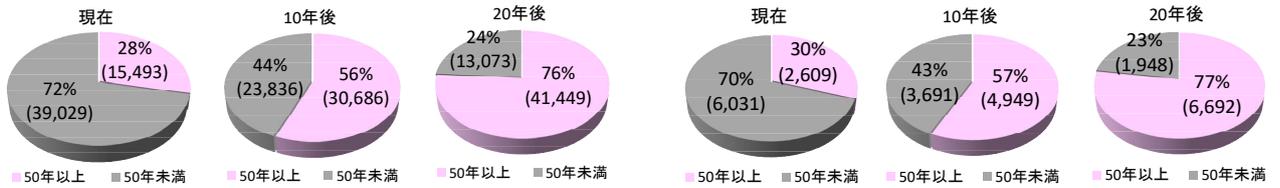


図7-2 建設後50年経過した割合

■ トンネル

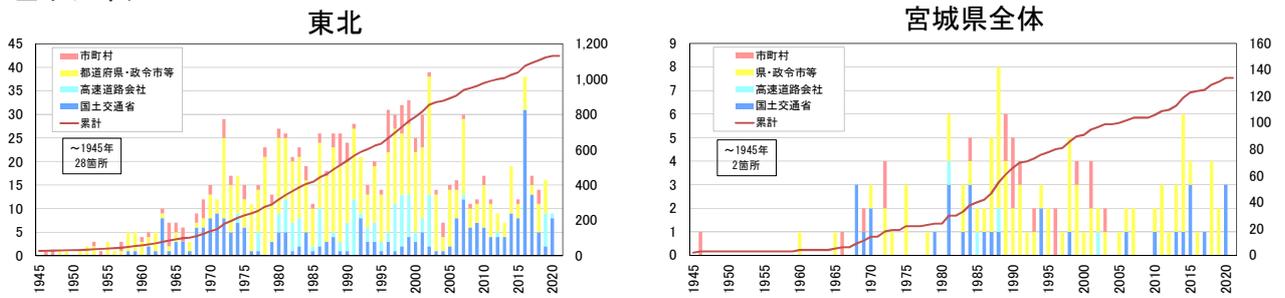


図7-3 建設年度別施設数

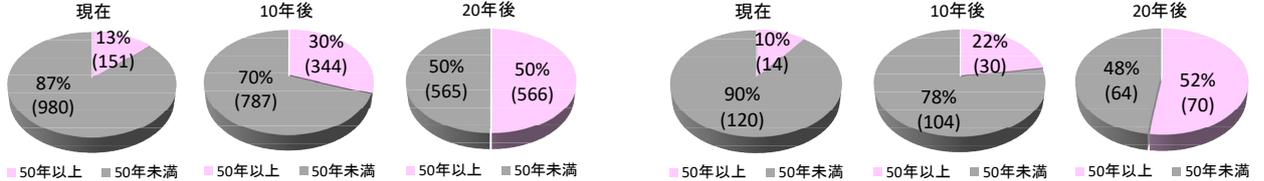


図7-4 建設後50年経過した割合

■ 道路附属物等

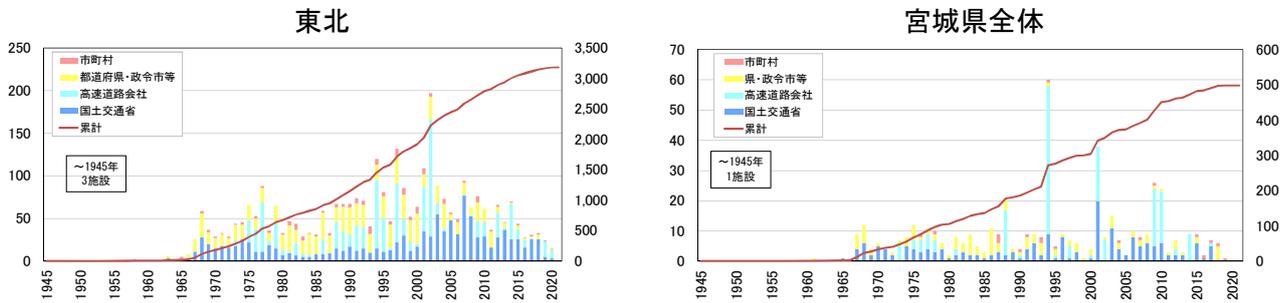


図7-5 建設年度別施設数

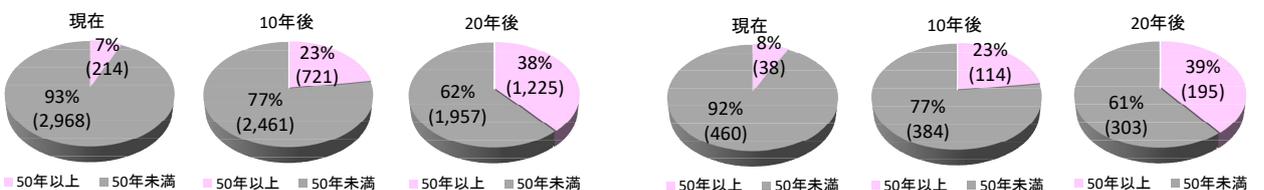


図7-6 建設後50年経過した割合

(2) 道路管理者別施設数内訳

■ 橋梁

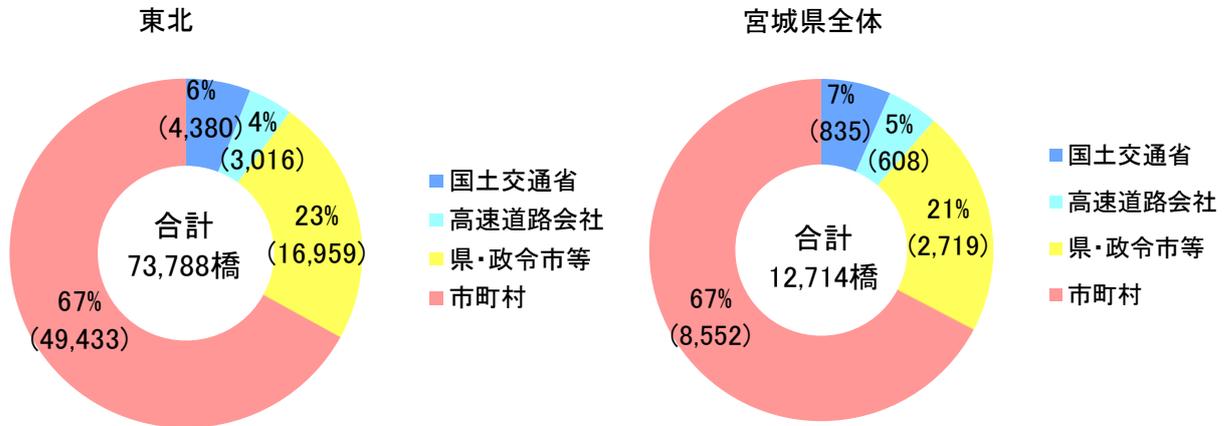


図 7-7 道路管理者別施設数内訳

■ トンネル

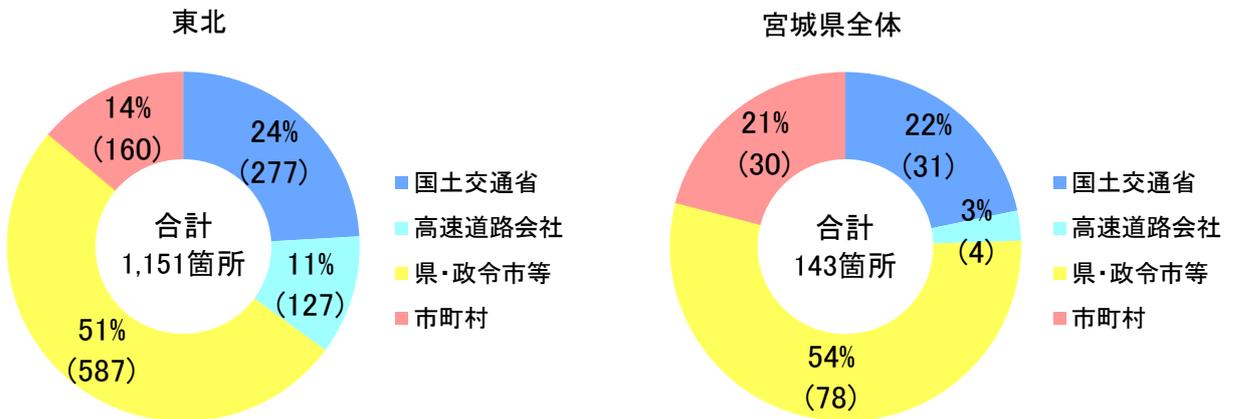


図 7-8 道路管理者別施設数内訳

■ 道路附属物等

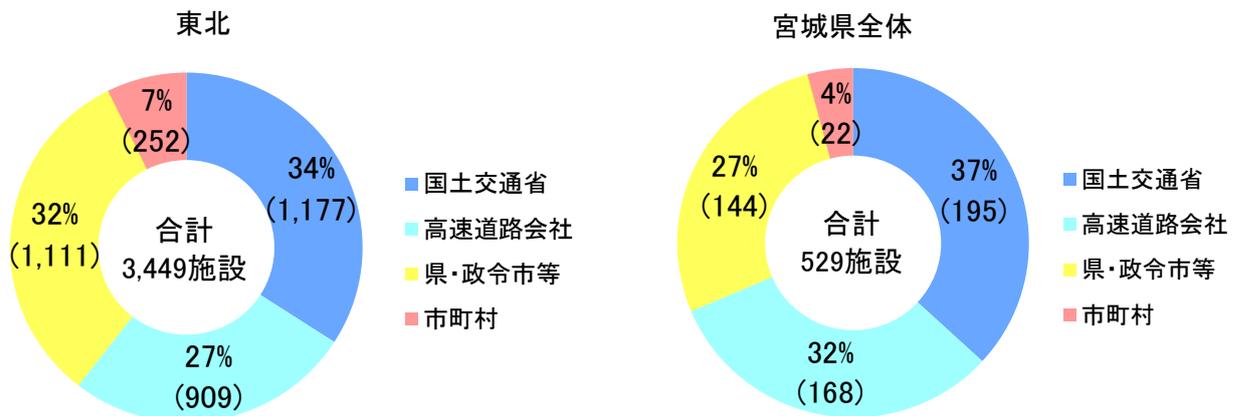


図 7-9 道路管理者別施設数内訳

(3) 2 巡目 (2019~2020 年度) 道路管理者別点検結果内訳

■ 橋梁

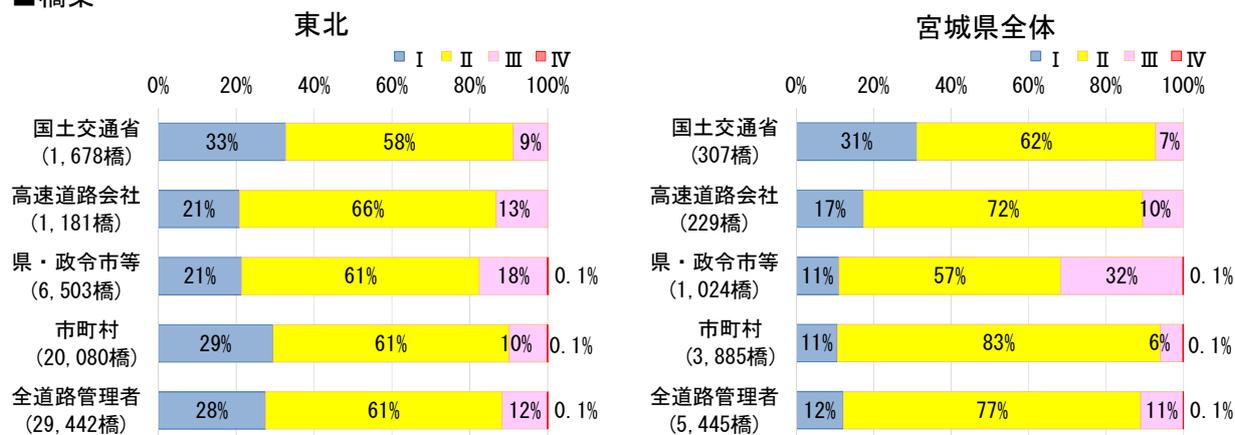


図 7 - 1 0 2 巡目 (2019~2020 年度) 道路管理者別点検結果内訳

■ トンネル

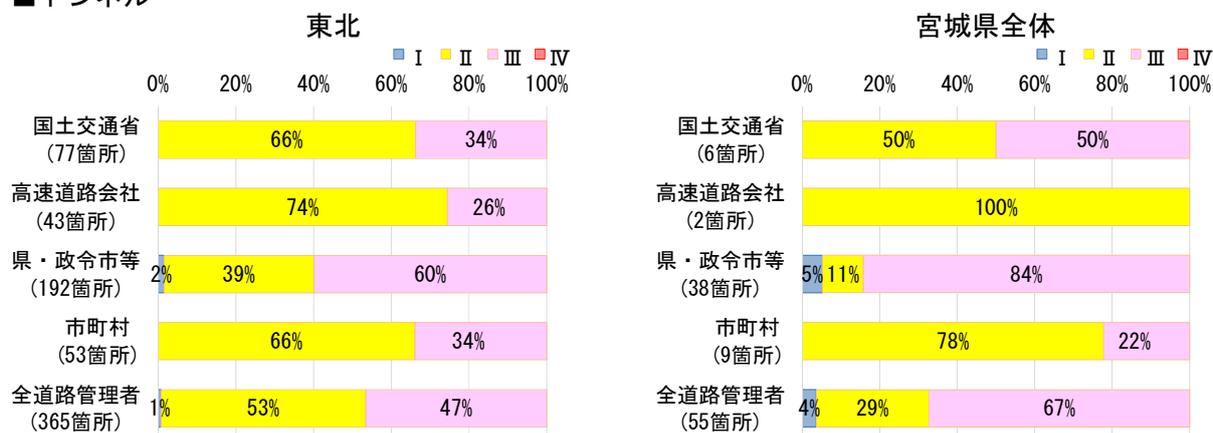


図 7 - 1 1 2 巡目 (2019~2020 年度) 道路管理者別点検結果内訳

■ 道路附属物等

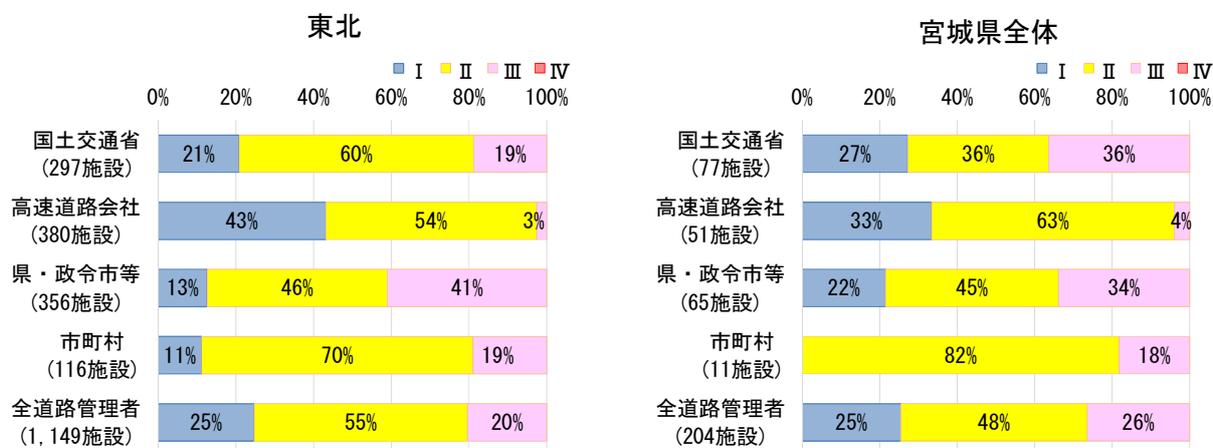


図 7 - 1 2 2 巡目 (2019~2020 年度) 道路管理者別点検結果内訳

(4) 2 巡目 (2019~2020 年度) 点検実施施設における道路管理者別判定区分の遷移状況

■ 橋梁

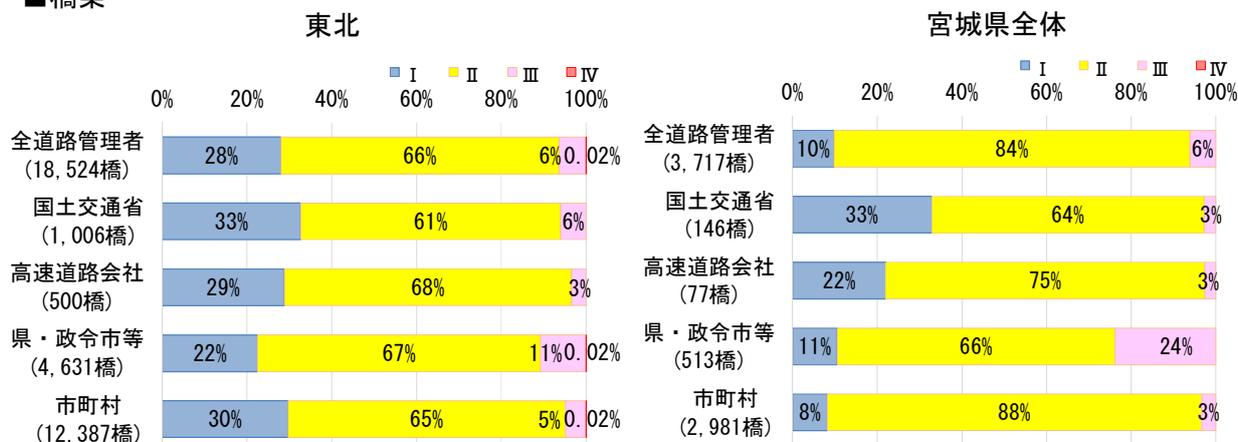


図 7-1-3 道路管理者別判定区分の遷移状況

■ トンネル

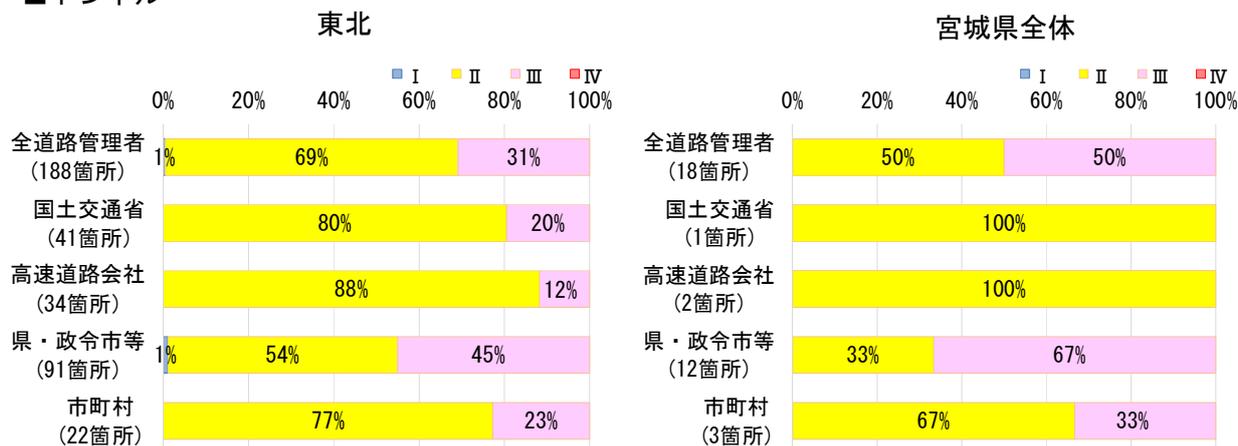


図 7-1-4 道路管理者別判定区分の遷移状況

■ 道路附属物等

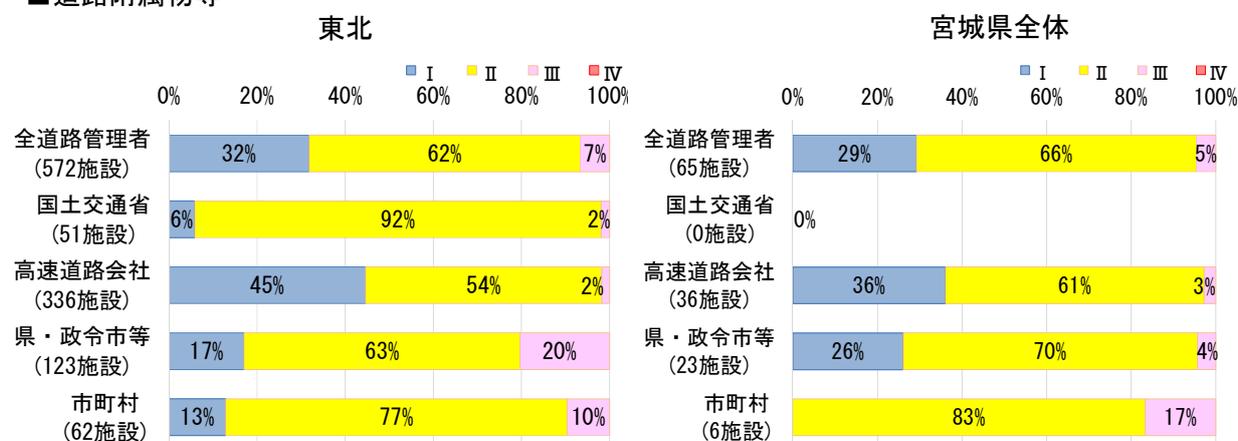


図 7-1-5 道路管理者別判定区分の遷移状況

(5) 2 巡目 (2019~2020 年度) 点検実施施設における建設年数別の遷移状況

■ 橋梁

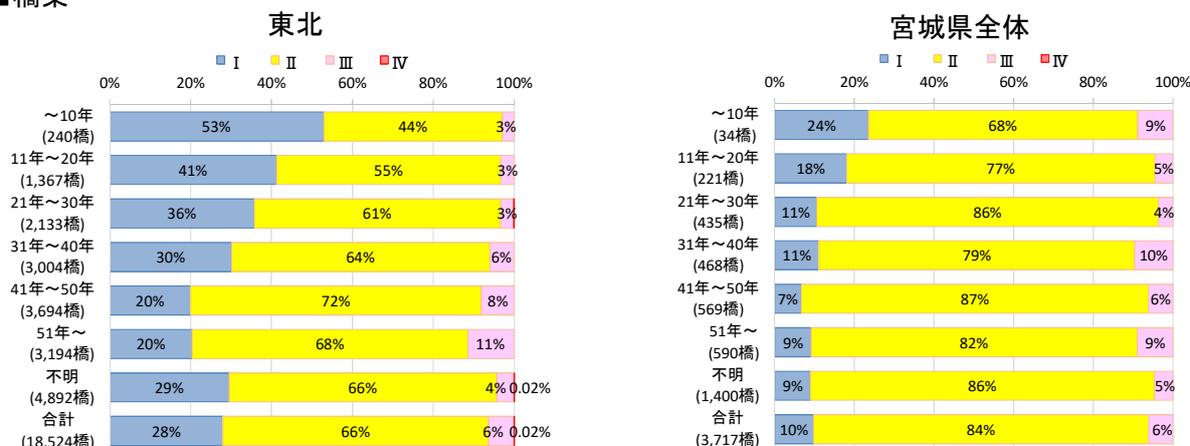


図 7-16 2 巡目 (2019~2020 年度) 点検実施施設における建設年数別の判定区分の遷移状況

■ トンネル

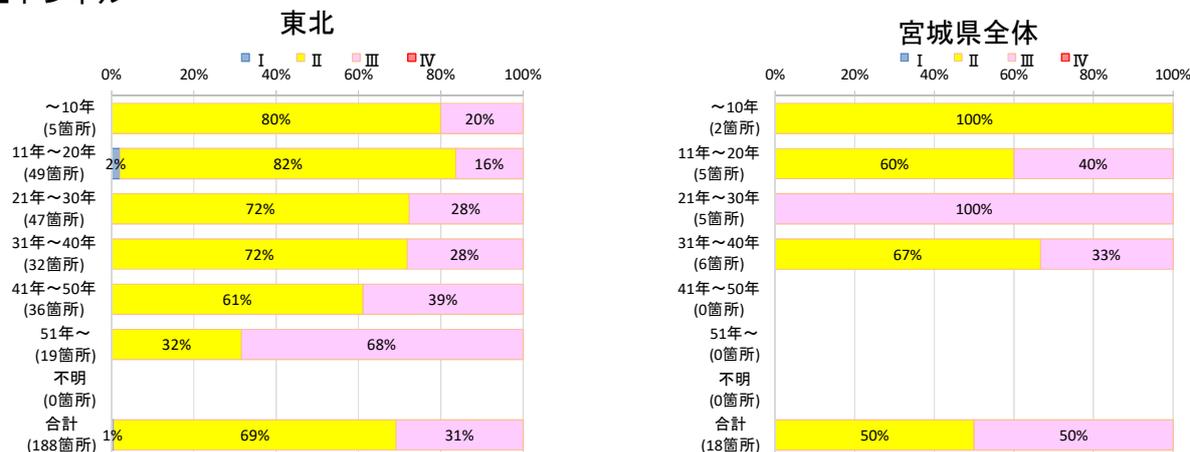


図 7-17 2 巡目 (2019~2020 年度) 点検実施施設における建設年数別の判定区分の遷移状況

■ 道路附属物等

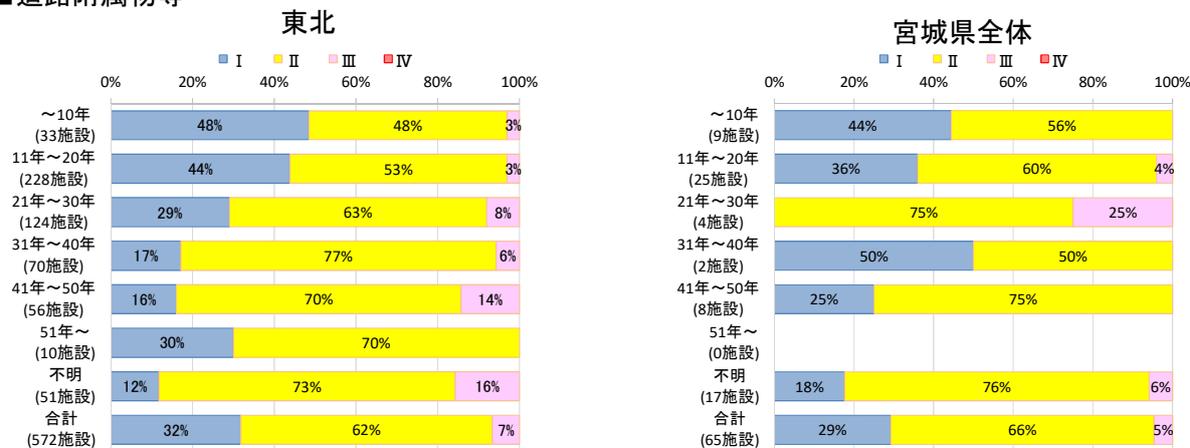


図 7-18 2 巡目 (2019~2020 年度) 点検実施施設における建設年数別の判定区分の遷移状況

(6) 直近5年間(2016~2020年度)道路管理者別点検結果内訳

■ 橋梁

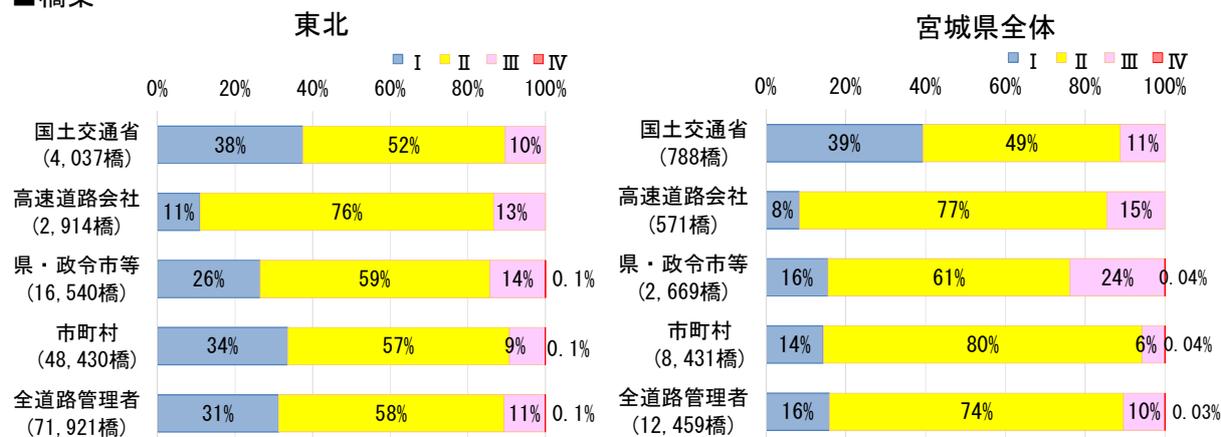


図7-19 直近5年間(2016~2020年度)道路管理者別点検結果内訳

■ トンネル

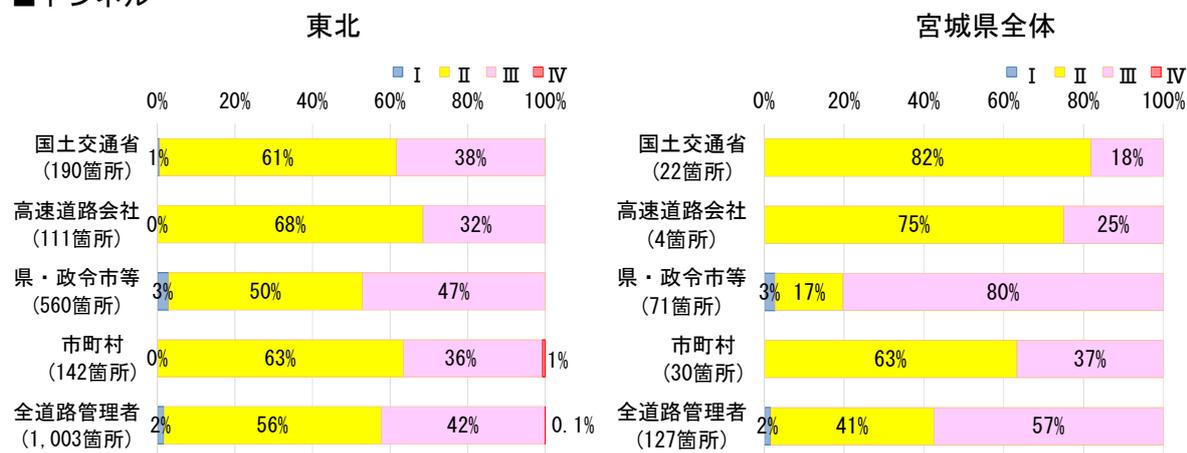


図7-20 直近5年間(2016~2020年度)道路管理者別点検結果内訳

■ 道路附属物等

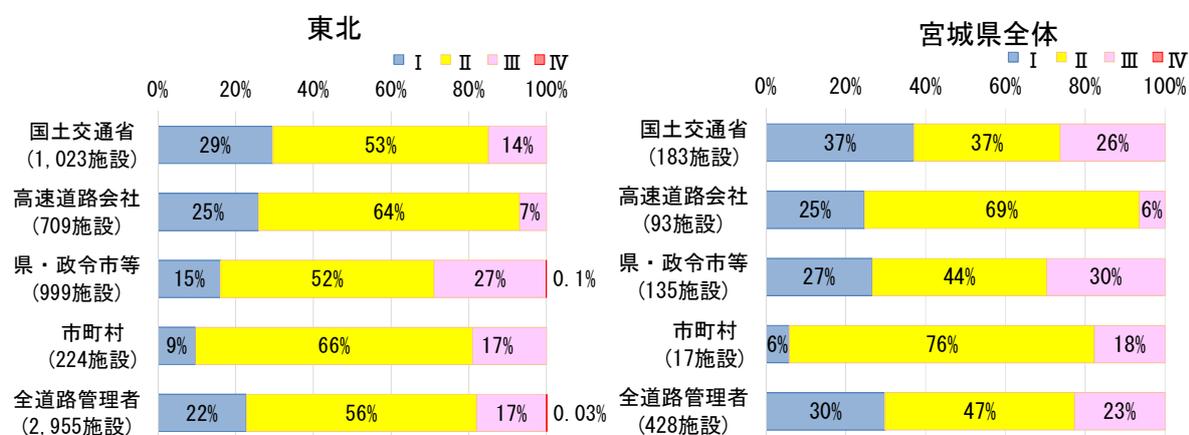


図7-21 直近5年間(2016~2020年度)道路管理者別点検結果内訳

(7) 直近5年間(2016~2020年度)点検実施施設における建設年数別の遷移状況

■ 橋梁

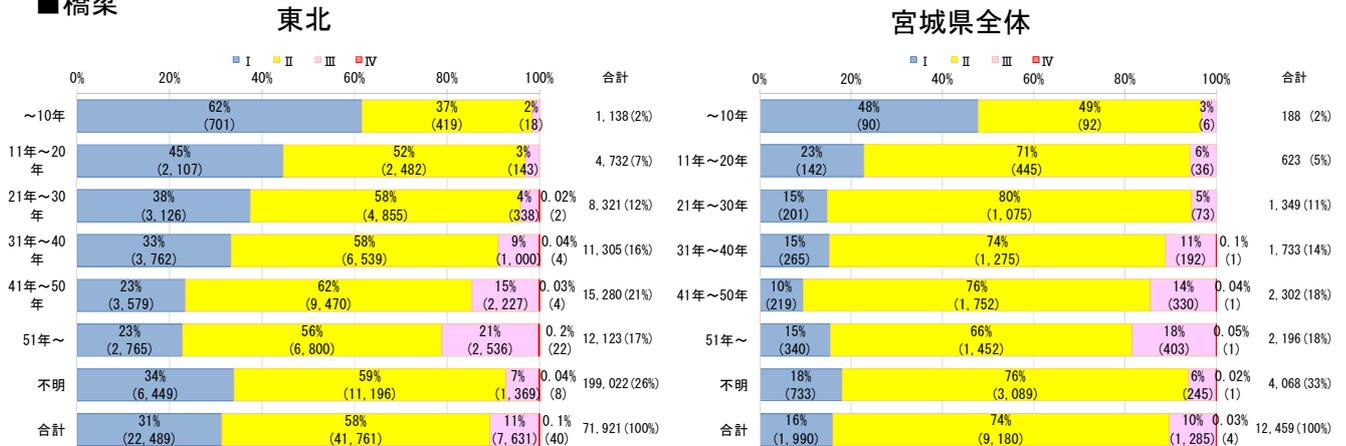


図7-22 直近5年間(2016~2020年度)点検実施施設における建設年数別の判定区分の遷移状況

■ トンネル

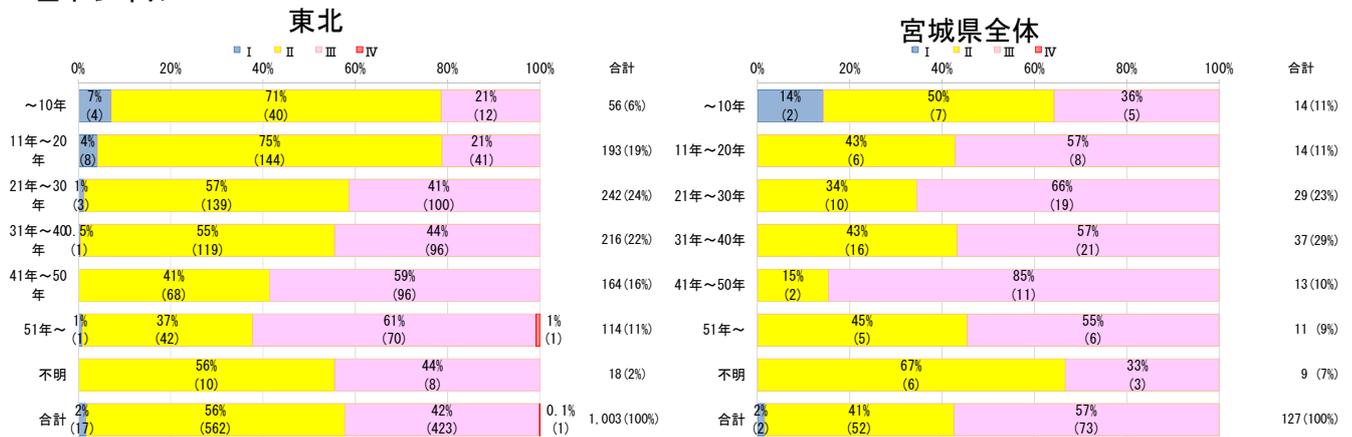


図7-23 直近5年間(2016~2020年度)点検実施施設における建設年数別の判定区分の遷移状況

■ 道路附属物等

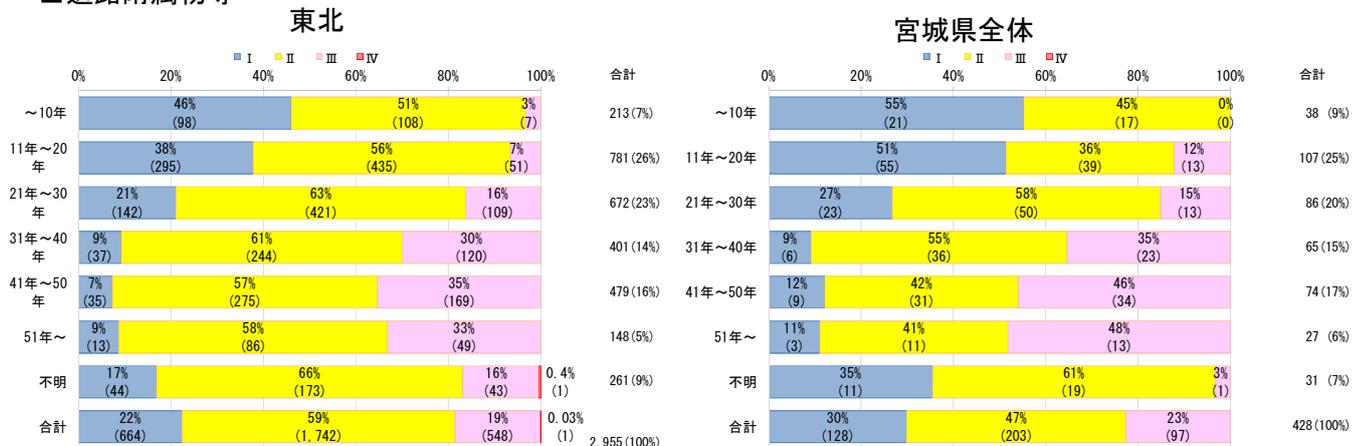


図7-24 直近5年間(2016~2020年度)点検実施施設における建設年数別の判定区分の遷移状況

(8) 部材ごとの点検結果内訳 (橋梁)

1) 凍結抑制剤による部材への影響

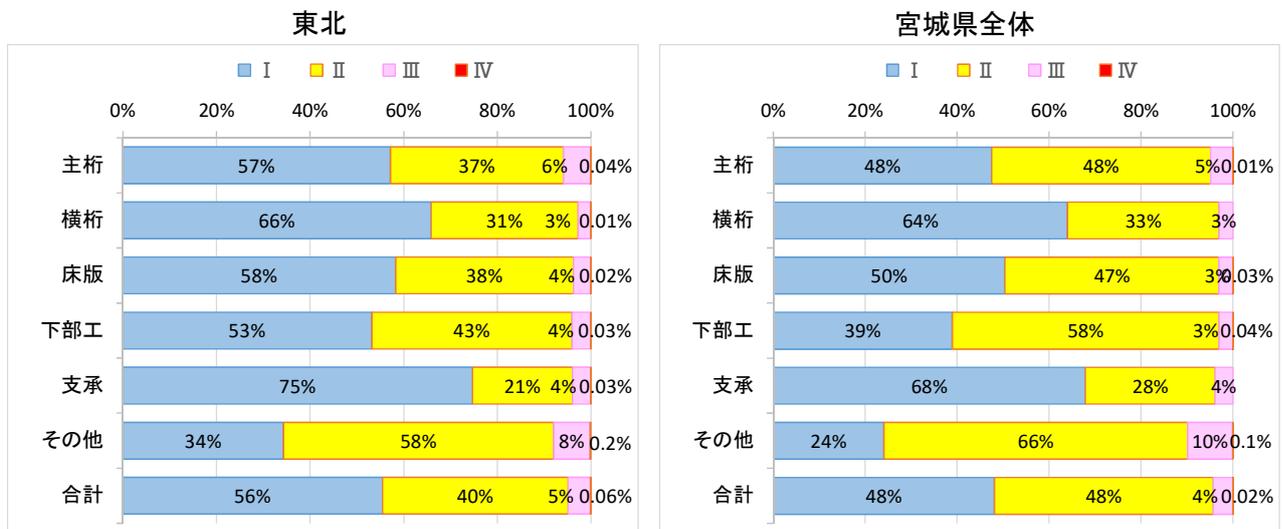


図 7-25 部材ごとの判定区分【散布量 20t/km/年未満】

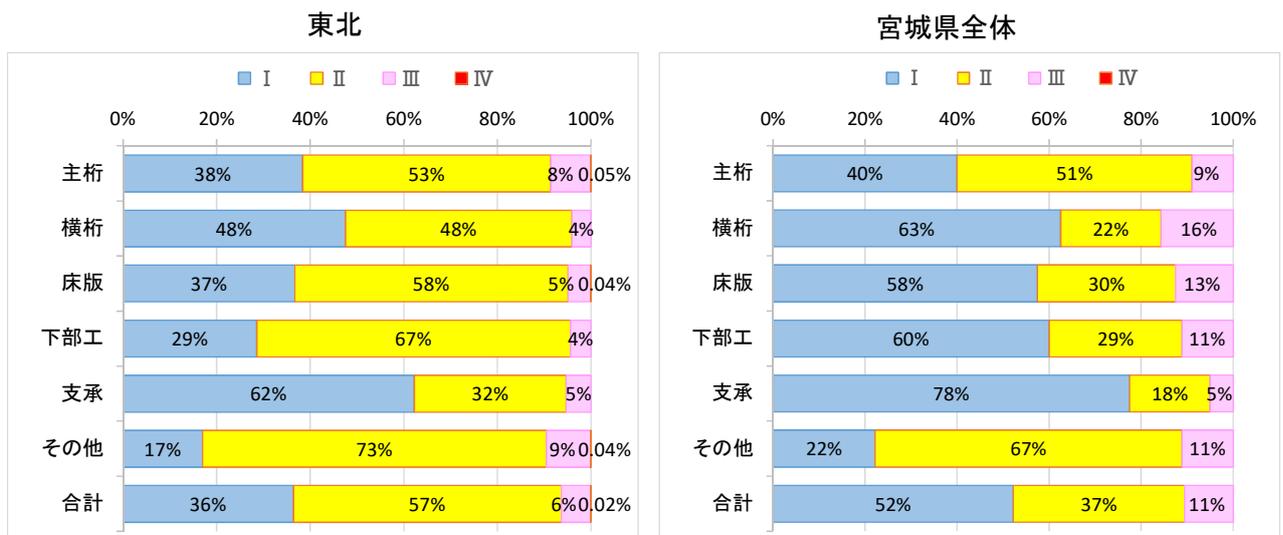


図 7-26 部材ごとの判定区分【散布量 20t/km/年以上】

※2017年度、2018年度、2019年度、2020年度データをもとに集計
 ※凍結抑制剤散布量は聞き取り調査の結果、散布量不明のデータを除外した集計値
 ※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

2) 塩害による部材への影響

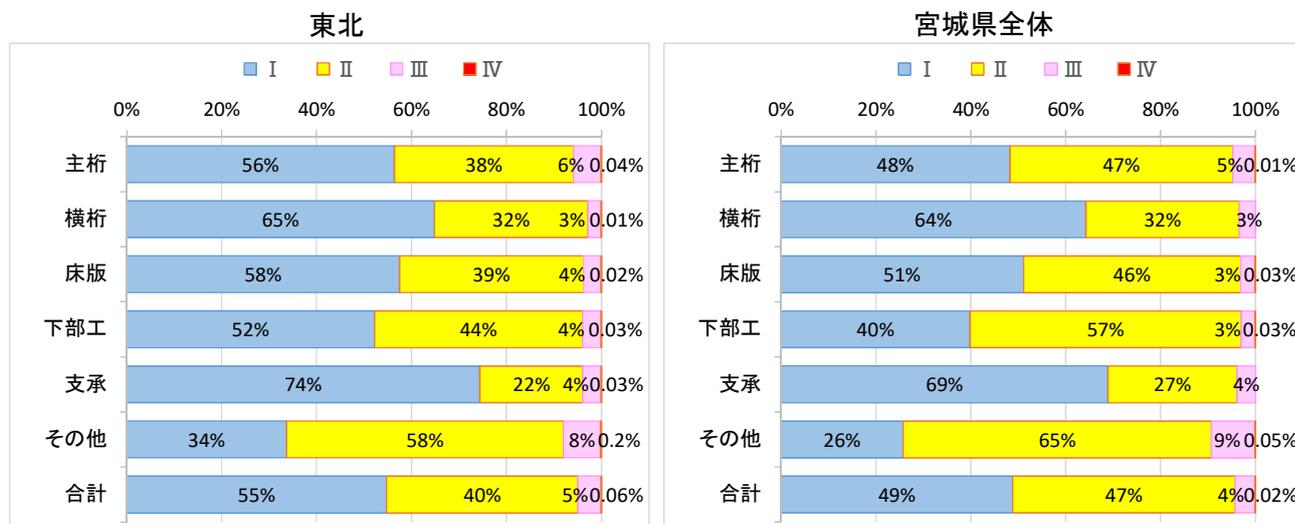


図 7-27 部材ごとの判定区分【非塩害地域】

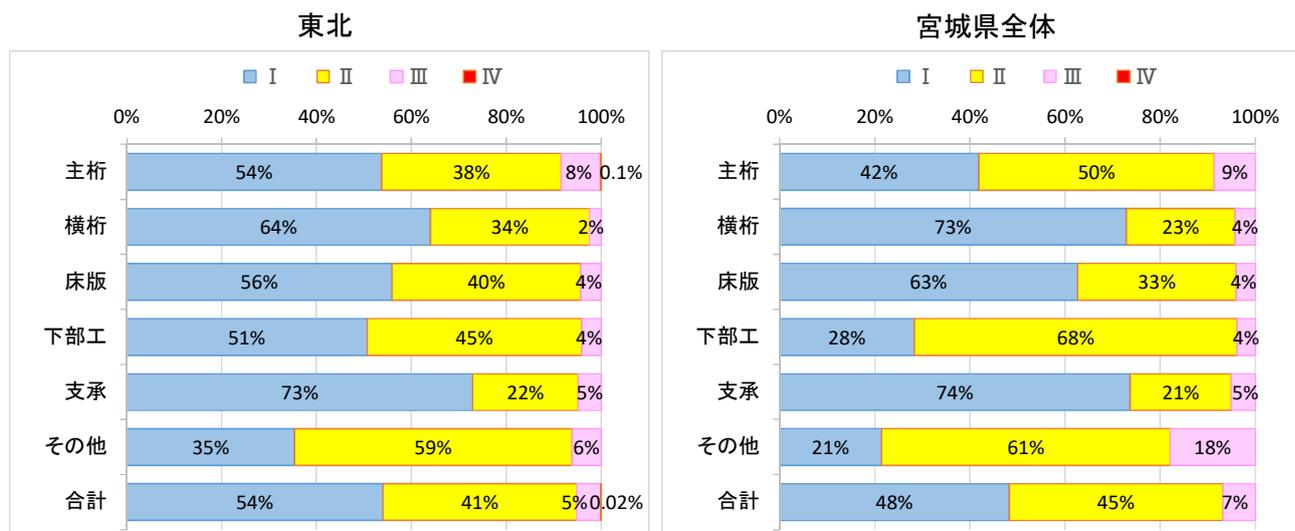


図 7-28 部材ごとの判定区分【塩害地域】

※部材ごと内訳は、2017年度、2018年度、2019年度、2020年度データをもとに集計
 ※塩害の影響地域の区分は「橋、高架の道路等の技術基準」Ⅲコンクリート部材編 表-6.2.3
 より以下のとおり分類する。
 非塩害地域：対策区分S、I、II、IIIに該当しない地域
 塩害地域：対策区分S、I、II、IIIに該当する地域
 ※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

(9) 定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごとの内訳(橋梁)

■橋梁

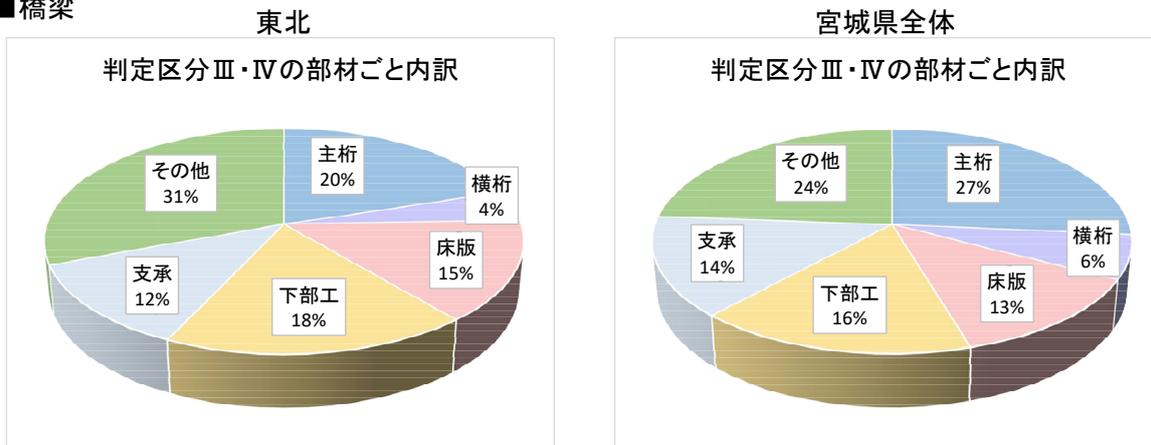


図7-29 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳(全橋種)【橋梁】

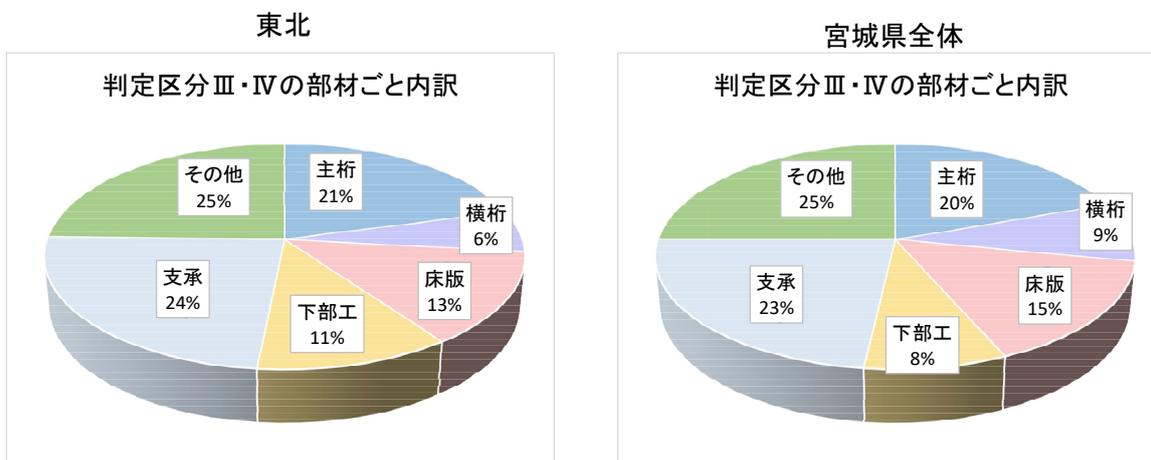


図7-30 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳(鋼橋)【橋梁】

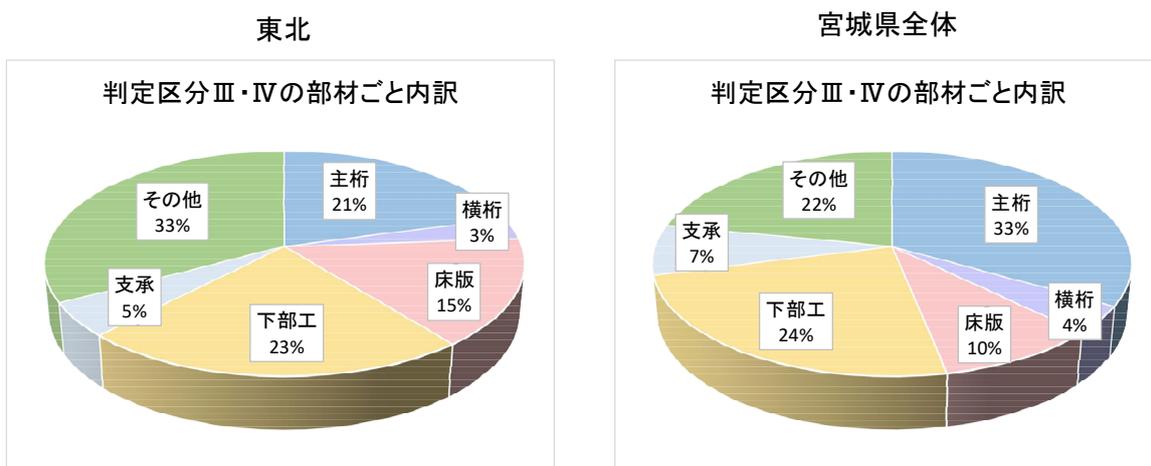


図7-31 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳(コンクリート橋)【橋梁】

※2017年度、2018年度、2019年度、2020年度データをもとに集計
 ※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

8 巻末資料

(1)	道路管理者別の管理施設数	51
(2)	2 巡目 (2019～2020 年度) 道路管理者別の点検結果	52
(3)	直近 5 年間 (2016～2020 年度) 道路管理者別の点検結果	55
(4)	道路管理者別の 1 巡目点検施設の修繕等措置の実施状況	58
(5)	判定区分Ⅳの施設リスト (2014 年度～2020 年度)	61
(6)	橋梁・トンネルの建設年度別施設数	62
(7)	各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況	64
(8)	全国道路構造物情報マップ (損傷マップ)	65

(1) 道路管理者別の管理施設数

管理者	管理者名	管理施設数						
		橋梁	トンネル	道路附属物等				
				シェッド	大型カルバート	横断歩道橋	門型標識等	
国土交通省	仙台河川国道事務所	835	30	195	6	70	52	67
	山形河川国道事務所	0	1	0	0	0	0	0
	国 小計	835	31	195	6	70	52	67
高速道路会社	NEXCO 東日本	608	4	168	0	106	0	62
県	宮城県	1,800	65	61	19	12	23	7
	山形県	0	1	0	0	0	0	0
	宮城県道路公社	32	0	12	0	12	0	0
	県 小計	1,832	66	73	19	24	23	7
政令市	仙台市	887	12	71	3	8	40	20
市町村	石巻市	903	4	2	0	0	2	0
	塩竈市	19	3	1	0	0	1	0
	気仙沼市	331	1	2	0	1	1	0
	白石市	333	0	0	0	0	0	0
	名取市	235	2	3	0	0	2	1
	角田市	278	0	0	0	0	0	0
	多賀城市	51	0	1	0	0	1	0
	岩沼市	167	0	0	0	0	0	0
	登米市	1,472	0	0	0	0	0	0
	栗原市	839	3	0	0	0	0	0
	東松島市	202	2	2	0	2	0	0
	大崎市	884	2	5	3	0	2	0
	富谷市	60	0	1	0	1	0	0
	蔵王町	105	0	1	0	1	0	0
	七ヶ宿町	58	4	0	0	0	0	0
	大河原町	107	1	0	0	0	0	0
	村田町	100	0	0	0	0	0	0
	柴田町	155	1	0	0	0	0	0
	川崎町	62	2	0	0	0	0	0
	丸森町	206	0	0	0	0	0	0
	亘理町	346	0	0	0	0	0	0
	山元町	231	0	0	0	0	0	0
	松島町	63	3	0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	3	1	0	0	0	0	0
	利府町	42	0	0	0	0	0	0
	大和町	131	0	1	0	0	1	0
	大郷町	76	0	0	0	0	0	0
	大衡村	61	0	1	0	0	1	0
	色麻町	130	0	0	0	0	0	0
	加美町	267	0	0	0	0	0	0
	涌谷町	218	0	2	0	2	0	0
	美里町	280	0	0	0	0	0	0
	女川町	26	1	0	0	0	0	0
南三陸町	111	0	0	0	0	0	0	
	市町村 小計	8,552	30	22	3	7	11	1
	合計	12,714	143	529	31	215	126	157

2021.3 末時点

(2) 2 巡目 (2019~2020 年度) 道路管理者別の点検結果

■ 橋梁

表 8 - 1 2 巡目 (2019~2020 年度) 道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
仙台河川国道事務所	96	189	22	0	307
国土交通省	96	189	22	0	307
高速道路会社	40	165	24	0	229
宮城県	31	384	275	0	690
宮城県道路公社	0	4	3	0	7
仙台市	82	199	45	1	327
石巻市	19	225	7	0	251
塩竈市	1	14	4	0	19
気仙沼市	31	213	32	2	278
白石市	4	115	4	0	123
名取市	20	57	6	0	83
角田市	1	117	9	0	127
多賀城市	0	11	0	0	11
岩沼市	0	0	0	0	0
登米市	150	357	22	0	529
栗原市	15	292	32	0	339
東松島市	24	160	11	0	195
大崎市	61	473	34	0	568
富谷市	0	15	3	0	18
蔵王町	5	76	0	0	81
七ヶ宿町	0	0	0	0	0
大河原町	4	69	0	0	73
村田町	3	50	2	0	55
柴田町	10	123	5	0	138
川崎町	2	7	0	0	9
丸森町	2	35	5	0	42
亘理町	23	201	11	0	235
山元町	11	84	2	1	98
松島町	0	21	4	0	25
七ヶ浜町	0	3	0	0	3
利府町	1	16	0	0	17
大和町	0	89	4	0	93
大郷町	1	35	0	0	36
大衡村	0	16	0	0	16
色麻町	8	46	0	0	54
加美町	4	104	0	0	108
涌谷町	1	70	11	0	82
美里町	8	98	10	0	116
女川町	4	14	0	0	18
南三陸町	1	35	9	0	45
合計	663	4,182	596	4	5,445

2021.3 末時点

■トンネル

表8-2 2巡目(2019~2020年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
仙台河川国道事務所	0	3	2	0	5
山形河川国道事務所	0	0	1	0	1
国土交通省	0	3	3	0	6
高速道路会社	0	2	0	0	2
宮城県	2	1	32	0	35
山形県	0	0	0	0	0
宮城県道路公社	0	0	0	0	0
仙台市	0	3	0	0	3
石巻市	0	0	0	0	0
塩竈市	0	0	0	0	0
気仙沼市	0	0	0	0	0
白石市	0	0	0	0	0
名取市	0	1	1	0	2
角田市	0	0	0	0	0
多賀城市	0	0	0	0	0
岩沼市	0	0	0	0	0
登米市	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	0	0	0
東松島市	0	2	0	0	2
大崎市	0	0	0	0	0
富谷市	0	0	0	0	0
蔵王町	0	0	0	0	0
七ヶ宿町	0	0	0	0	0
大河原町	0	0	0	0	0
村田町	0	0	0	0	0
柴田町	0	0	0	0	0
川崎町	0	0	0	0	0
丸森町	0	0	0	0	0
亶理町	0	0	0	0	0
山元町	0	0	0	0	0
松島町	0	2	1	0	3
七ヶ浜町	0	1	0	0	1
利府町	0	0	0	0	0
大和町	0	0	0	0	0
大郷町	0	0	0	0	0
大衡村	0	0	0	0	0
色麻町	0	0	0	0	0
加美町	0	0	0	0	0
涌谷町	0	0	0	0	0
美里町	0	0	0	0	0
女川町	0	1	0	0	1
南三陸町	0	0	0	0	0
合計	2	16	37	0	55

2021.3 末時点

■道路附属物等

表 8 - 3 2 巡目 (2019~2020 年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
仙台河川国道事務所	21	28	28	0	77
国土交通省	21	28	28	0	77
高速道路会社	17	32	2	0	51
宮城県	4	5	17	0	26
宮城県道路公社	0	0	0	0	0
仙台市	10	24	5	0	39
石巻市	0	0	1	0	1
塩竈市	0	1	0	0	1
気仙沼市	0	1	0	0	1
白石市	0	0	0	0	0
名取市	0	1	0	0	1
角田市	0	0	0	0	0
多賀城市	0	1	0	0	1
岩沼市	0	0	0	0	0
登米市	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	0	0	0
東松島市	0	1	0	0	1
大崎市	0	2	1	0	3
富谷市	0	0	0	0	0
蔵王町	0	1	0	0	1
七ヶ宿町	0	0	0	0	0
大河原町	0	0	0	0	0
村田町	0	0	0	0	0
柴田町	0	0	0	0	0
川崎町	0	0	0	0	0
丸森町	0	0	0	0	0
亘理町	0	0	0	0	0
山元町	0	0	0	0	0
松島町	0	0	0	0	0
七ヶ浜町	0	0	0	0	0
利府町	0	0	0	0	0
大和町	0	1	0	0	1
大郷町	0	0	0	0	0
大衡村	0	0	0	0	0
色麻町	0	0	0	0	0
加美町	0	0	0	0	0
涌谷町	0	0	0	0	0
美里町	0	0	0	0	0
女川町	0	0	0	0	0
南三陸町	0	0	0	0	0
合計	52	98	54	0	204

2021.3 末時点

(3) 直近5年間(2016~2020年度)道路管理者別の点検結果

■ 橋梁

表8-4 直近5年間(2016~2020年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
仙台河川国道事務所	310	390	88	0	788
国土交通省	310	390	88	0	788
高速道路会社	48	440	83	0	571
宮城県	199	1,060	513	0	1,772
宮城県道路公社	10	14	5	0	29
仙台市	207	544	116	1	868
石巻市	153	715	26	0	894
塩竈市	1	14	4	0	19
気仙沼市	32	248	40	2	322
白石市	26	289	17	0	332
名取市	30	180	7	0	217
角田市	15	249	14	0	278
多賀城市	1	47	2	0	50
岩沼市	10	144	4	0	158
登米市	517	870	81	0	1,468
栗原市	72	693	74	0	839
東松島市	24	161	11	0	196
大崎市	107	705	68	0	880
富谷市	0	50	9	0	59
蔵王町	6	98	0	0	104
七ヶ宿町	0	55	0	0	55
大河原町	5	102	0	0	107
村田町	5	90	4	0	99
柴田町	13	136	6	0	155
川崎町	2	60	0	0	62
丸森町	38	153	13	0	204
亘理町	32	290	11	0	333
山元町	22	192	11	1	226
松島町	1	53	7	0	61
七ヶ浜町	0	3	0	0	3
利府町	1	36	2	0	39
大和町	9	113	7	0	129
大郷町	1	73	1	0	75
大衡村	1	58	1	0	60
色麻町	11	116	2	0	129
加美町	13	244	7	0	264
涌谷町	30	174	14	0	218
美里町	16	237	27	0	280
女川町	4	14	0	0	18
南三陸町	18	70	10	0	98
合計	1,990	9,180	1,285	4	12,459

2021.3 末時点

■ トンネル

表 8-5 直近 5 年間 (2016~2020 年度) 道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
仙台河川国道事務所	0	18	3	0	21
山形河川国道事務所	0	0	1	0	1
国土交通省	0	18	4	0	22
高速道路会社	0	3	1	0	4
宮城県	2	7	51	0	60
山形県	0	1	0	0	1
宮城県道路公社	0	0	0	0	0
仙台市	0	4	6	0	10
石巻市	0	2	2	0	4
塩竈市	0	0	3	0	3
気仙沼市	0	0	1	0	1
白石市	0	0	0	0	0
名取市	0	1	1	0	2
角田市	0	0	0	0	0
多賀城市	0	0	0	0	0
岩沼市	0	0	0	0	0
登米市	0	0	0	0	0
栗原市	0	3	0	0	3
東松島市	0	2	0	0	2
大崎市	0	2	0	0	2
富谷市	0	0	0	0	0
蔵王町	0	0	0	0	0
七ヶ宿町	0	1	3	0	4
大河原町	0	1	0	0	1
村田町	0	0	0	0	0
柴田町	0	1	0	0	1
川崎町	0	2	0	0	2
丸森町	0	0	0	0	0
亶理町	0	0	0	0	0
山元町	0	0	0	0	0
松島町	0	2	1	0	3
七ヶ浜町	0	1	0	0	1
利府町	0	0	0	0	0
大和町	0	0	0	0	0
大郷町	0	0	0	0	0
大衡村	0	0	0	0	0
色麻町	0	0	0	0	0
加美町	0	0	0	0	0
涌谷町	0	0	0	0	0
美里町	0	0	0	0	0
女川町	0	1	0	0	1
南三陸町	0	0	0	0	0
合計	2	52	73	0	127

2021.3 末時点

■道路附属物等

表 8 - 6 直近 5 年間 (2016~2020 年度) 道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
仙台河川国道事務所	68	67	48	0	183
国土交通省	68	67	48	0	183
高速道路会社	23	64	6	0	93
宮城県	15	15	25	0	55
宮城県道路公社	5	7	0	0	12
仙台市	16	37	15	0	68
石巻市	0	0	1	0	1
塩竈市	0	1	0	0	1
気仙沼市	1	1	0	0	2
白石市	0	0	0	0	0
名取市	0	1	0	0	1
角田市	0	0	0	0	0
多賀城市	0	1	0	0	1
岩沼市	0	0	0	0	0
登米市	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	0	0	0
東松島市	0	1	0	0	1
大崎市	0	2	2	0	4
富谷市	0	1	0	0	1
蔵王町	0	1	0	0	1
七ヶ宿町	0	0	0	0	0
大河原町	0	0	0	0	0
村田町	0	0	0	0	0
柴田町	0	0	0	0	0
川崎町	0	0	0	0	0
丸森町	0	0	0	0	0
亘理町	0	0	0	0	0
山元町	0	0	0	0	0
松島町	0	0	0	0	0
七ヶ浜町	0	0	0	0	0
利府町	0	0	0	0	0
大和町	0	1	0	0	1
大郷町	0	0	0	0	0
大衡村	0	1	0	0	1
色麻町	0	0	0	0	0
加美町	0	0	0	0	0
涌谷町	0	2	0	0	2
美里町	0	0	0	0	0
女川町	0	0	0	0	0
南三陸町	0	0	0	0	0
合計	128	203	97	0	428

2021.3 末時点

(4) 道路管理者別の1巡目点検施設の修繕等措置の実施状況

■ 橋梁

表8-7 1巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A: 措置が必要な施設数 B: 措置に着手済の施設数
C: 措置に着手済の施設数 D: 措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
仙台河川国道事務所	16	16	16	16	20	20	13	13	25	25	8	8	25	21	9	6	16	9	2	2	102	91	48	45
高速道路会社	5	5	5	5	2	2	1	1	35	24	20	19	23	15	12	8	20	9	2	2	85	55	40	35
宮城県	16	14	10	8	51	29	17	10	120	77	47	30	118	60	26	15	62	10	3	3	367	190	103	66
宮城県道路公社	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2	2	2	1
仙台市	0	0	0	0	2	2	2	2	75	56	29	24	41	13	1	0	5	1	1	1	123	72	33	27
石巻市	4	4	4	4	3	2	2	0	1	1	1	1	10	9	4	1	14	8	5	5	32	24	16	11
塩竈市	1	1	1	1	0	0	0	0	3	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	3	2
気仙沼市	5	5	3	3	21	8	8	7	7	5	4	3	0	0	0	0	2	2	2	1	35	20	17	14
白石市	0	0	0	0	2	2	0	0	5	5	1	1	2	2	1	1	6	6	2	2	15	15	4	4
名取市	8	8	6	5	3	3	3	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	13	12	10	7
角田市	2	2	0	0	3	2	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	10	5	1	1
多賀城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0	0	2	2	2	2
岩沼市	4	4	4	3	0	0	0	0	4	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	6
登米市	0	0	0	0	1	1	1	1	37	36	11	6	16	2	1	1	6	2	0	0	60	41	13	8
栗原市	13	13	3	0	1	1	0	0	4	3	0	0	33	5	0	0	5	0	0	0	56	22	3	0
東松島市	18	18	17	17	0	0	0	0	9	9	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	27	27	21	20
大崎市	103	103	103	102	14	14	14	14	4	4	4	3	5	5	2	1	25	25	12	12	151	151	135	132
富谷市	0	0	0	0	4	2	1	1	6	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	8	3	1
蔵王町	4	4	4	4	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	6
七ヶ宿町	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
大河原町	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	5
村田町	0	0	0	0	3	3	3	3	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	4	3
柴田町	8	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	9	7	7	7
川崎町	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
丸森町	0	0	0	0	6	3	1	1	3	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	14	3	1	1
亘理町	12	10	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	10	3	3
山元町	0	0	0	0	3	3	3	3	7	7	1	1	2	2	0	0	2	1	1	1	14	13	5	5
松島町	0	0	0	0	2	2	1	0	3	3	0	0	2	2	0	0	1	1	1	1	8	8	2	1
七ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利府町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0
大和町	4	2	2	2	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	8	4	4	2
大郷町	0	0	0	0	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3
大衡村	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1
色麻町	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	1	1
加美町	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	0	0	9	5	2	2
涌谷町	5	5	5	5	1	1	0	0	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	13	6	5	5
美里町	6	4	0	0	5	2	2	2	11	8	5	3	1	0	0	0	5	2	0	0	28	16	7	5
女川町	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3
南三陸町	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
合計	244	234	202	194	155	110	80	67	379	284	151	111	288	139	59	36	184	83	33	31	1,250	850	525	439

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数(2021.3末時点)

■トンネル

表 8-8 1 巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A：措置が必要な施設数 B：措置に着手済の施設数
C：措置に着手済の施設数 D：措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
仙台河川国道事務所	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	4	4	
高速道路会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	
宮城県	4	4	4	4	5	5	1	1	9	9	1	0	17	17	2	1	1	1	0	36	36	8	6	
宮城県道路公社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仙台市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	2	2	2	0	6	6	6	4
石巻市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0	2	2	2	2	
塩竈市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
気仙沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
白石市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
名取市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
角田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
多賀城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
登米市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東松島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富谷市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
蔵王町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	0	0	0	3	3	3	3	
大河原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
村田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
柴田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
川崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亘理町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
松島町	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2		
七ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利府町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大衡村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
色麻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
加美町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
涌谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	6	6	5	5	8	8	4	4	13	13	3	2	30	27	12	11	4	3	2	0	61	57	26	22

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数（2021.3 末時点）

■道路附属物等

表 8-9 1 巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A：措置が必要な施設数 B：措置に着手済の施設数
C：措置に着手済の施設数 D：措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
仙台河川国道事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	12	10	0	0	8	0	0	0	1	0	0	0	21	10	0	0
高速道路会社	1	1	1	1	2	2	1	1	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	1	1	7	7	5	5
宮城県	0	0	0	0	19	17	11	7	0	0	0	0	7	0	0	0	1	0	0	0	27	17	11	7
宮城県道路公社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仙台市	0	0	0	0	19	18	15	11	6	6	1	1	3	2	0	0	1	0	0	0	29	26	16	12
石巻市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
塩竈市	0	0	0	0	19	18	15	11	6	6	1	1	3	2	0	0	1	0	0	0	29	26	16	12
気仙沼市	0	0	0	0	38	35	26	18	6	6	1	1	10	2	0	0	2	0	0	0	56	43	27	19
白石市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
名取市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
角田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
多賀城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
登米市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栗原市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
東松島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富谷市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
蔵王町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
大河原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
村田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
柴田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
川崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亘理町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
松島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
七ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利府町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大衡村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
色麻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
加美町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
涌谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	2	1	1	1	40	37	27	19	18	16	1	1	20	4	2	2	6	2	1	1	86	60	32	24

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数（2021.3 末時点）

(5) 判定区分Ⅳの施設リスト (2014年度～2020年度)

■橋梁

○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況 (予定含む)

管理者	計	管理中				撤去・ 廃止済 ※2	計
		修繕・ 架替	撤去・ 廃止	機能転換 ※1	対応 検討中		
県・政令市等	1	1	0	0	0	0	1
市町村	5	4	0	0	1	2	7
合計	6	5	0	0	1	2	8

※1：機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。

※2：判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※国土交通省、高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○県・政令市等 (1橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2021.3月末時点)
仙台市	なかしばぼし 仲芝橋	市道サイカチ 沼線	1988	2019	橋台のひびわれ、 変形・欠損、洗堀など	全面通行止	架替予定

○市町村 (7橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2021.3月末時点)
気仙沼市 (宮城県)	まごめぼし 馬籠橋	市道上野旧県 道線	1963	2014 2019	主桁、床版の剥離、鉄筋露 出、下部構造の剥離	全面通行止	架替中
気仙沼市 (宮城県)	なつやきはし 夏焼橋	市道上東側根 上西側線	不明	2020	木橋上部の腐朽	全面通行止	検討中
名取市 (宮城県)	かわうちさわぼし 川内沢橋	市道笠島中道 線	1983	2014	主桁のひびわれ、剥離、鉄 筋露出	通行規制 (片側)	修繕済
大崎市 (宮城県)	なのかまち ござぼし 七日町1号橋	市道第一小前 線	1919	2014	主桁のひびわれ	通行規制 (8t)	架替済
亶理町 (宮城県)	かみやちきたぼし 上野地北橋	町道下新道上 野地線	1966	2014	橋台の傾斜	全面通行止	撤去済
亶理町 (宮城県)	みなみなかぼし 南中橋	町道吉田浜南 線	1990	2014	主桁の流失、ずれ	全面通行止	撤去済
山元町 (宮城県)	くまさかはし 熊坂橋	町道浅生原熊 坂線	1973	2020	基礎部の沈下により、橋座 と桁に大きな隙間が発生	仮橋を設置 して、通行 規制(大型 車以上)	架替予定

■トンネル (0箇所)

■道路附属物等 (0施設)

(6) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

■橋梁

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県・ 政令市等	市町村
1920 以前	1	0	1	3
1921	0	0	2	0
1922	1	0	0	0
1923	0	0	0	0
1924	0	0	2	1
1925	0	0	3	0
1926	0	0	3	3
1927	0	0	11	2
1928	2	0	4	2
1929	2	0	6	5
1930	1	0	15	7
1931	1	0	21	5
1932	0	0	9	6
1933	1	0	17	9
1934	0	0	11	2
1935	2	0	34	15
1936	1	0	9	3
1937	3	0	20	1
1938	3	0	11	3
1939	0	0	17	1
1940	0	0	6	4
1941	0	0	4	3
1942	0	0	3	1
1943	0	0	5	2
1944	0	0	1	2
1945	0	0	3	2
1946	0	0	1	0
1947	1	0	1	1
1948	0	0	3	2
1949	1	0	3	8
1950	0	0	0	8
1951	2	0	5	9
1952	0	0	7	15
1953	6	0	7	11
1954	1	0	7	9
1955	2	0	18	33
1956	2	0	6	9
1957	10	0	22	38
1958	5	0	40	19
1959	6	0	31	29
1960	10	0	32	45
1961	26	0	46	32
1962	35	0	45	86
1963	53	0	59	66
1964	21	0	41	95
1965	20	0	52	65
1966	7	0	58	118
1967	10	0	73	105
1968	12	0	69	78
1969	23	0	66	66
1970	31	0	95	106
1971	19	4	61	83

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県・ 政令市等	市町村
1972	11	6	56	113
1973	18	76	65	103
1974	23	20	60	183
1975	17	62	54	122
1976	13	82	43	112
1977	13	63	36	160
1978	7	44	57	144
1979	19	0	36	99
1980	17	4	50	140
1981	6	6	55	145
1982	8	0	38	62
1983	25	0	54	83
1984	12	0	39	82
1985	6	0	45	147
1986	27	4	81	75
1987	5	10	41	95
1988	12	18	78	120
1989	4	1	45	100
1990	2	17	36	222
1991	4	5	48	92
1992	0	23	50	83
1993	2	4	51	121
1994	5	34	27	74
1995	5	18	28	51
1996	10	10	25	49
1997	39	3	20	46
1998	5	0	22	62
1999	9	0	23	51
2000	2	17	29	41
2001	7	5	16	58
2002	4	4	15	36
2003	19	1	15	30
2004	20	0	13	27
2005	8	1	19	25
2006	13	2	25	25
2007	10	0	20	8
2008	14	2	15	19
2009	6	27	13	15
2010	9	0	8	25
2011	0	0	2	14
2012	9	5	7	16
2013	4	0	5	13
2014	2	19	3	9
2015	5	4	16	21
2016	9	1	7	18
2017	13	0	8	32
2018	14	0	11	22
2019	10	0	8	7
2020	0	6	1	9
2021	0	0	0	0
不明	12	0	134	3,928
総計	835	608	2,719	8,552

2021.3 末時点

■トンネル

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県・ 政令市等	市町村
1920 以前	0	0	0	1
1921	0	0	0	0
1922	0	0	0	0
1923	0	0	0	0
1924	0	0	0	0
1925	0	0	0	0
1926	0	0	0	0
1927	0	0	0	0
1928	0	0	0	0
1929	0	0	0	0
1930	0	0	0	0
1931	0	0	0	0
1932	0	0	0	0
1933	0	0	0	0
1934	0	0	0	0
1935	0	0	0	0
1936	0	0	0	0
1937	0	0	0	0
1938	0	0	0	0
1939	0	0	0	0
1940	0	0	0	0
1941	0	0	0	0
1942	0	0	0	0
1943	0	0	0	0
1944	0	0	0	1
1945	0	0	0	0
1946	0	0	0	1
1947	0	0	0	0
1948	0	0	0	0
1949	0	0	0	0
1950	0	0	0	0
1951	0	0	0	0
1952	0	0	0	0
1953	0	0	0	0
1954	0	0	0	0
1955	0	0	0	0
1956	0	0	0	0
1957	0	0	0	0
1958	0	0	0	0
1959	0	0	0	0
1960	0	0	1	0
1961	0	0	0	0
1962	0	0	0	0
1963	0	0	0	0
1964	0	0	0	0
1965	0	0	1	0
1966	0	0	0	1
1967	0	0	0	0
1968	3	0	0	0
1969	1	0	0	1
1970	2	0	1	0
1971	0	0	0	0

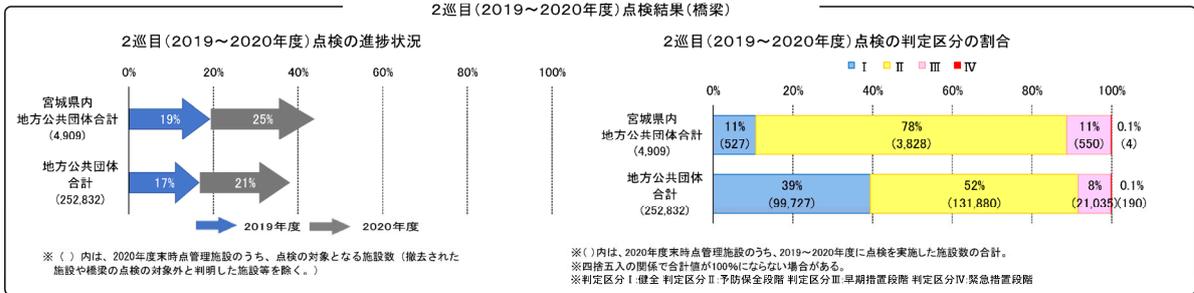
建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県・ 政令市等	市町村
1972	0	0	2	2
1973	0	0	1	0
1974	0	0	0	0
1975	0	0	3	0
1976	0	0	0	0
1977	0	0	0	0
1978	0	0	1	0
1979	1	0	0	0
1980	0	0	0	0
1981	3	1	2	0
1982	0	0	0	0
1983	1	0	2	0
1984	3	0	1	1
1985	0	1	1	0
1986	1	0	1	0
1987	1	0	4	0
1988	1	1	6	0
1989	0	0	4	2
1990	0	0	2	3
1991	0	0	3	1
1992	0	0	1	0
1993	0	0	1	1
1994	2	0	1	0
1995	0	0	2	0
1996	0	0	0	2
1997	0	0	1	0
1998	1	0	4	0
1999	0	0	3	1
2000	0	0	1	0
2001	0	0	2	2
2002	0	1	1	0
2003	0	0	1	1
2004	0	0	0	0
2005	0	0	1	0
2006	1	0	1	0
2007	0	0	2	0
2008	0	0	0	0
2009	0	0	0	0
2010	1	0	1	0
2011	0	0	3	0
2012	0	0	1	0
2013	1	0	2	0
2014	1	0	5	0
2015	3	0	1	0
2016	0	0	1	0
2017	1	0	0	0
2018	0	0	4	0
2019	0	0	2	0
2020	3	0	0	0
2021	0	0	0	0
不明	0	0	0	9
総計	31	4	78	30

2021.3 末時点

(7) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況

宮城県における道路管理者毎（国土交通省、高速道路会社、都道府県、市町村）の老朽化対策状況（橋梁、トンネル、道路附属物等の判定区分や措置状況等）を視覚化した情報を初公開。

宮城県における橋梁の老朽化対策の状況



判定区分Ⅲ・Ⅳ施設の修繕等措置の状況(2020年度末時点)

○近5年間(2016~2020年度)の点検で判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設の修繕等措置の状況

道路管理者	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)
宮城県内地方公共団体合計	1,118	473 (42%)	170 (15%)	101 (9%)
地方公共団体合計	54,918	21,378 (39%)	11,702 (21%)	8,698 (16%)

○1巡目の点検で判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設の修繕等措置の状況

措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)
1,063	704 (66%)	437 (41%)	359 (34%)
62,836	34,419 (55%)	25,297 (40%)	21,912 (35%)

宮城県における橋梁の老朽化対策の状況

2020年度末時点

管理者	施設数 (直近5年間(2016~2020年度)の点検結果 ※1)					判定区分割合					直近5年間(2016~2020年度)の点検で判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設の修繕等措置の状況					
	I	II	III	IV	合計	I	II	III	IV	合計	措置が必要な施設数 ※2	措置に着手済の施設数	措置に着手済の施設数	措置完了済の施設数	着手率	完了率
1 国土交通省	310	390	88	0	788	39%	49%	11%			88	67	19	16	76%	
2 高速道路会社	48	440	83	0	571	8%	77%	15%			83	49	33	28	59%	
3 宮城県道路公社	10	14	5	0	29	34%	48%	17%			5	2	2	1	40%	
4 宮城県	199	1,060	513	0	1,772	11%	60%	29%			513	160	74	43	31%	
5 仙台市	207	544	116	1	868	24%	63%	13%	0.1%		117	51	13	9	44%	
6 石巻市	153	715	26	0	894	17%	80%	3%			26	13	5	1	50%	
7 塩竈市	1	14	4	0	19	5%	74%	21%			4	1	1	0	25%	
8 気仙沼市	32	248	40	2	322	10%	77%	12%	1%		42	9	6	3	21%	
9 白石市	26	289	17	0	332	8%	87%	5%			17	15	4	4	88%	
10 名取市	30	180	7	0	217	14%	83%	3%			7	5	3	0	71%	
11 角田市	15	249	14	0	278	5%	90%	5%			14	5	1	1	36%	
12 多賀城市	1	47	2	0	50	2%	94%	4%			2	2	2	2	100%	
13 岩沼市	10	144	4	0	158	6%	91%	3%			4	4	4	3	100%	
14 登米市	517	870	81	0	1,468	35%	59%	6%			81	45	17	12	56%	
15 栗原市	72	693	74	0	839	9%	83%	9%			74	23	4	0	31%	
16 東松島市	24	161	11	0	196	12%	82%	6%			11	11	1	0	100%	
17 大崎市	107	705	68	0	880	12%	80%	8%			68	66	19	16	97%	
18 富谷市	0	50	9	0	59		85%	15%			9	7	2	0		
19 蔵王町	6	98	0	0	104	6%	94%				0	0	0	0		
20 セーブ町	0	55	0	0	55		100%				0	0	0	0		
21 大河原町	5	102	0	0	107	5%	95%				0	0	0	0		
22 村田町	5	90	4	0	99	5%	91%	4%			4	2	1	0	50%	
23 柴田町	13	136	6	0	155	8%	88%	4%			6	1	1	1	17%	
24 川崎町	2	60	0	0	62	3%	97%				0	0	0	0		
25 丸森町	38	153	13	0	204	19%	75%	6%			13	2	0	0	15%	
26 亶理町	32	290	11	0	333	10%	87%	3%			11	7	0	0	64%	
27 山元町	22	192	11	1	226	10%	85%	5%	0.4%		12	11	0	0	92%	
28 松島町	1	53	7	0	61	2%	87%	11%			7	7	1	0	100%	
29 セーブ町	0	3	0	0	3		100%				0	0	0	0		
30 利府町	1	36	2	0	39	3%	92%	5%			2	2	0	0	100%	
31 大和町	9	113	7	0	129	7%	88%	5%			7	2	2	0	29%	
32 大畑町	1	73	1	0	75	1%	97%	1%			1	1	1	1	100%	
33 大衡村	1	58	1	0	60	2%	97%	2%			1	0	0	0		
34 色麻町	11	116	2	0	129	9%	90%	2%			2	0	0	0		
35 加美町	13	244	7	0	264	5%	92%	3%			7	3	0	0		
36 涌谷町	30	174	14	0	218	14%	80%	6%			14	1	0	0	7%	
37 美里町	16	237	27	0	280	6%	85%	10%			27	14	5	3	52%	

(8) 全国道路構造物情報マップ（損傷マップ）

直近5年間（2016～2020年度）の点検で判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された橋梁、トンネル、道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で閲覧できる「全国道路構造物情報マップ（損傷マップ）」を初公開。

施設アイコンをクリックで
諸元・点検データ等の表示が可能

平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
の重ね合わせ・区間属性の表示が可能

施設・管理者ごとの表示
や対策状況・判定区分で
色分け表示が可能

全国道路構造物情報マップ ～損傷マップ～

施設名: _____ を含む 路線名: _____ を含む 管理者名: _____ を含む
 架設年度: 西暦 ~ 西暦 橋長(m): _____ ~ _____ 点検実施年度: 西暦 ~ 西暦

絞り込み表示 地図に戻る

549件該当

位置確認	種類	施設名		路線	橋梁の諸元に關する調査項目				行政区域	
		橋名	(フリガナ)		区分	管理者名	管理事務所名 (地公律は任意)	都道府県名		市区町村名
MAP	橋梁	間浜橋	(ミマハシ)	一般国道130号線	都道府県	東京都	第一建設事務所	東京都	港区	35.6
MAP	橋梁	大和橋	(オホニシ)	新橋両国線(都道302号線)	都道府県	東京都	第一建設事務所	東京都	千代田区	35.6
MAP	橋梁	大井北郎陸橋(ランプ部4)	(オホイノラウリツウ(ランプア4))	日本橋芝浦大森線(都道302号線)	都道府県	東京都	第二建設事務所	東京都	品川区	35.6
MAP	橋梁	大井町陸橋	(オホイノチカシ)	鮎川大山線(都道420号線)	都道府県	東京都	第二建設事務所	東京都	品川区	35.6
MAP	橋梁	瀧田陸橋	(タニタチカシ)	横伏八号線(都道311号線)	都道府県	東京都	第二建設事務所	東京都	大田区	35.6
MAP	橋梁	上野毛大橋	(カミノガオハシ)	一般国道466号線	都道府県	東京都	第二建設事務所	東京都	世田谷区	35.6
MAP	橋梁	五輪橋	(イリンバシ)	赤坂杉並線(都道413号線)	都道府県	東京都	第二建設事務所	東京都	渋谷区	35.6

一覧表形式での表示や検索が可能

宮城県道路メンテナンス会議（構成機関）

宮城県土木部道路課

仙台市建設局道路部道路保全課

白石市建設部建設課

角田市産業建設部都市整備課

蔵王町建設課

七ヶ宿町農林建設課

大河原町地域整備課

村田町建設水道課

柴田町都市建設課

川崎町建設水道課

丸森町建設課

名取市建設部土木課

岩沼市建設部土木課

亘理町都市建設課

山元町建設課

大和町都市建設課

富谷市建設部都市整備課

大衡村都市建設課

塩竈市建設部土木課

多賀城市建設部道路公園課

松島町建設課

七ヶ浜町建設課

利府町都市開発部施設管理課

大郷町地域整備課

大崎市建設部建設課

加美町建設課

色麻町建設水道課

涌谷町建設課

美里町建設課

栗原市建設部建設課

登米市建設部道路課

石巻市建設部道路第1課

東松島市建設部建設課

女川町建設課

気仙沼市建設部土木課

南三陸町建設課

東日本高速道路(株)東北支社

宮城県道路公社建設部道路管理課

東北地方整備局道路部

東北地方整備局仙台河川国道事務所

東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所

東北地方整備局東北技術事務所

公益社団法人宮城県建設センター（オブザーバー）

会 長 東北地方整備局仙台河川国道事務所長

副 会 長 宮城県土木部道路課長

事 務 局 宮城県土木部道路課

東北地方整備局道路部

東北地方整備局仙台河川国道事務所

東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所

東北地方整備局東北技術事務所

問い合わせ窓口(事務局)

○宮城県土木部道路課

電話022-211-3155

○東北地方整備局仙台河川国道事務所道路管理第二課

電話022-304-1811